

九州経済国際化データ2020

Kyushu economic internationalization data



< 概要版 >

2020年12月

経済産業省 九州経済産業局

はじめに

九州経済産業局では、グローバルな経済交流を地域の活力にすべく、中小企業の海外展開支援や留学生等グローバル人材の活用促進等を通じて、九州経済の国際化の推進に取り組んでいます。

これらの取り組みを進めるため、九州における貿易、投資、人的交流の動向等の国際化に関する情報を整理・分析し、この度、「九州経済国際化データ2020」として取りまとめました。本資料は、「九州経済の基礎データ」、「九州と世界の貿易」、「九州と各国・地域の貿易」、「九州の産業別貿易動向」の4部で構成されています。

2020年の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による世界的な経済活動の停滞という、全く新たなパラダイムに直面することとなりました。グローバルな規模の各経済活動の制限により、生産や雇用をはじめ、各方面への悪影響の拡大や長期化が懸念される状況です。

今後は、新型コロナ危機の克服や、国内・国際経済の構造転換を図る取り組みを進めていく必要があります。

予測が難しい大きな変化の中ではありますが、本資料により、九州の貿易動向や、投資・人的交流など国際関連の状況を把握いただくとともに、海外ビジネスや国際交流に取り組まれる方々の基礎データとしてご参考いただき、皆様方の一助となりましたら幸いです。

2020年12月
九州経済産業局

目 次

「九州経済国際化データ2020」のポイント①	-----	1
「九州経済国際化データ2020」のポイント②	-----	2
「九州経済国際化データ2020」の構成	-----	3
九州と全国の「アジア度」	-----	4
貿易額推移	-----	5
品目別貿易動向	-----	6
国・地域別貿易動向	-----	7
貿易収支	-----	8
韓国との貿易動向	-----	9
中国との貿易動向	-----	10
台湾との貿易動向	-----	11
香港との貿易動向	-----	12
米国との貿易動向	-----	13
ASEANとの貿易動向①	-----	14
ASEANとの貿易動向②	-----	15
E Uとの貿易動向①	-----	16
E Uとの貿易動向②	-----	17
産業別貿易動向① 自動車	-----	18
産業別貿易動向② 半導体等電子部品	-----	19
産業別貿易動向③ 食料品	-----	20
企業の海外進出	-----	21
外国人入国者①	-----	22
外国人入国者②	-----	23
外国人延べ宿泊者	-----	24
外国人労働者	-----	25
留学生	-----	26

「九州経済国際化データ2020」のポイント①

●経済概況、内外投資、人的交流

九州の「アジア度」

経済活動・交流におけるアジアとの強い結びつき

○本「国際化データ」においては、毎年、海外との経済活動や交流を示すデータ6項目（「輸出額」、「輸入額」、「海外進出企業件数」、「外国人入国者数」、「国際航空路線数」、「姉妹提携自治体数」）について、九州と全国におけるアジアの割合を「アジア度」として抽出。

○「輸入額」を除く5項目については全国比を上回り、依然として九州の「アジア度」が高い結果。九州経済とアジアとの結びつきの強さがうかがえる。

九州企業の海外展開

海外進出は累計1220件、進出先はアジアが3/4を超える

○2019年までの九州企業の海外進出累計件数は1,220件（2019年の新規海外進出件数は31件）。そのうち、アジアが937件（構成比76.8%）を占める。このうち、中国は383件（同31.4%）、ASEAN地域は338件（同27.7%）

○県別にみると、福岡県が883件（構成比72.4%）、業種別には、運輸204件（同16.7%）と最多。

海外との人的交流

外国人労働者・留学生は増加、外国人入国者やクルーズ船寄港は減少

○外国人入国者数

・2019年に九州に入国した外国人数（※）は422.2万人（対前年17.5%減、全国比12.7%）、9年ぶりの減少。

・国籍別では、韓国（170.6万人、構成比40.4%）、中国（132.9万人、同31.5%）、台湾（45.9万人、同10.9%）の順に多く、アジアからの入国者が九州全体の95.8%。

・九州への外国クルーズ船による船観光上陸外国人数は111.5万人（対前年25.3%減、全国比55.0%）

○外国人延べ宿泊者数

・2019年の九州の外国人延べ宿泊者数は、753.8万人（対前年5.5%増、全国比7.4%）

○外国人労働者数

・2019年の九州の外国人労働者数は97,058人（対前年15.0%増）

・国籍別では、ベトナムが3.6万人（構成比36.8%、対前年27.3%増）と最も多く、次いで中国、ネパールの順に多い。

・産業別では、製造業（28.5%）、卸売業・小売業（15.5%）、宿泊業・飲食サービス業（9.6%）の順

○留学生

・2019年の九州の留学生（高等教育機関及び日本語教育機関における総数）は、29,581人（対前年2.5%増、全国比9.5%）

・国籍別ではベトナムが8,251人（構成比27.9%）、次いで中国、ネパール、韓国の順に多く、アジアからの留学生が95.0%。

「九州経済国際化データ2020」のポイント②

●貿易データ * 以下、「九州経済国際化データ2020【貿易編】」で公表済み

九州の貿易額

2019年の九州の貿易額は、輸出入額ともに3年ぶりの減少

- 輸出額 6兆7, 189億円（対前年 3.3%減、全国比 8.7%） ※全国 76兆9,317億円（対前年 5.6%減）
- 輸入額 5兆3, 401億円（対前年 9.3%減、全国比 6.8%） ※全国 78兆5,995億円（対前年 5.0%減）
- 九州の輸出額全国比は昨年より0.2ポイント増加、輸入額全国比は0.3ポイント減少
- 貿易収支は+1兆3, 788億円（対前年1.4%増）
→ 5年連続の輸出超過 ※全国は2年連続の輸入超過

九州の貿易相手国・地域

輸出はアジア、輸入は資源国が中心
輸出入ともに中国が最大の貿易相手国

- 輸出上位5カ国・地域は、順に、中国、米国、韓国、香港、台湾。
→ アジアの国・地域が全体の6割超。2000年以降、北米や西欧向け輸出が減少する一方で、アジア向けの割合が増加。2006年以降は中国が最大の輸出相手国。
- 輸入上位5カ国・地域は、順に、中国、オーストラリア、米国、アラブ首長国連邦、台湾。
→ 1990年代以降、中国からの輸入額が最も多く、以下、原油・石炭等の資源輸出国が目立つ。

九州の貿易品目

主な品目は、輸出は輸送用機械、半導体等電子部品、輸入は鉱物性燃料

- 輸出額上位品目は、順に、自動車、半導体等電子部品、船舶類、鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ、半導体製造装置。
→ 輸送用機器、電子機器関連を中心としたこれら6品目で全体の6割弱。
- 輸入額上位品目は、順に、原油及び粗油、石炭、非鉄金属鉱、半導体等電子部品、鉄鉱石、石油ガス類、自動車の部分品。
→ 原油・石炭等鉱物性燃料が最も多く（全体の3割超）、次いで非鉄金属鉱・鉄鉱石等の原料品（約1割）、輸送用及び電子機械等の部品関連。

※本編における統計データは、主として、直近の財務省「貿易統計」（2019年分）の数値を使用しています。

「九州経済国際化データ2020」の構成

- 序章 九州経済の基礎データ
1. 九州の経済概況
 2. 対外投資・対内投資
 3. 海外との人的交流
- 第1章 九州と世界の貿易＊
1. 世界との貿易動向
 2. 輸出動向
 3. 輸入動向
- 第2章 九州と各国・地域の貿易＊
1. 韓国との貿易
 2. 中国との貿易
 3. 台湾との貿易
 4. 香港との貿易
 5. ベトナムとの貿易
 6. タイとの貿易
 7. シンガポールとの貿易
 8. マレーシアとの貿易
 9. フィリピンとの貿易
 10. インドネシアとの貿易
 11. ミャンマーとの貿易
 12. インドとの貿易
 13. 米国との貿易
 14. オーストラリアとの貿易
 15. 環黄海地域との経済関係
 16. ASEANとの貿易
 17. EUとの貿易

第3章 九州の産業別貿易動向＊

1. 自動車・自動車の部分品
2. 半導体等電子部品
3. 鉄鋼
4. 船舶類
5. 食料品
6. 農林水産物及び加工品
7. 鉱物性燃料

巻末資料

1. 九州と全国のアジア度推移
2. 九州と全国の貿易の推移＊
3. 九州企業の海外進出件数の推移
4. 外国人入国者数
5. 九州の外国人留学生数
6. 九州の姉妹都市提携自治体
7. 地理圏・経済圏の分類表＊
8. 品目分類表＊

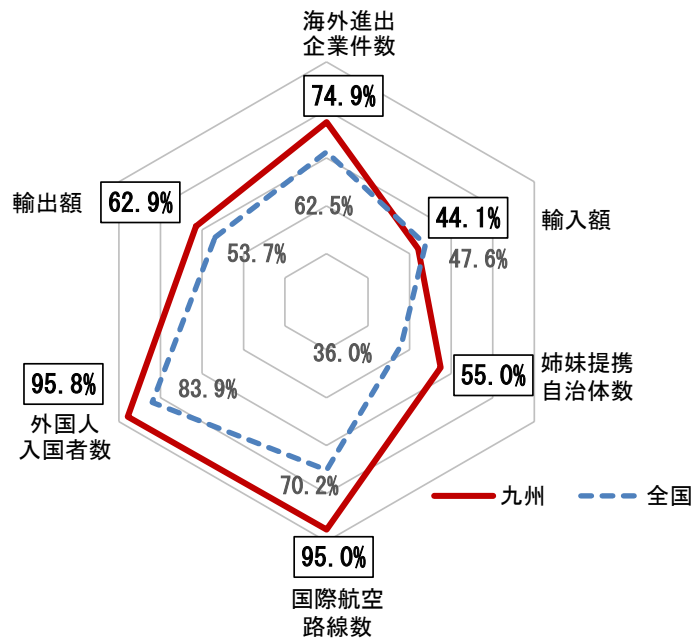
別冊 九州の品目別貿易額 各国・地域別データ

注) ＊については「九州経済国際化データ2020【貿易編】」に掲載(2019年9月公表)。ただし、第2章各国・地域の進出件数関連データ、第2章15「環黄海地域との経済関係」は今回掲載。

九州と全国の「アジア度」

- 九州とアジア地域の経済交流の深まりを見るため、「輸出額」、「輸入額」、「海外進出企業件数」、「外国人入国者数」、「国際航空路線数」、「姉妹提携自治体数」の6項目を取り上げ、経済活動全体に占める対アジアの割合を「アジア度」として算出。
- 2019年の九州と全国の「アジア度」を比較すると、「輸入額」を除いた5項目について、九州の「アジア度」が全国よりも高く、九州経済はアジアとの結びつきが強いことがうかがえる。なお、輸出額のアジア度(62.9%)は、2000年以降で過去最高。(従来は2019年の61.3%)

九州と全国の「アジア度」の比較



項目	(単位)	九州			全国		
		アジア	世界	アジア度	アジア	世界	アジア度
海外進出企業件数	(件)	914	1,221	74.9%	20,204	32,336	62.5%
輸入額	(億円)	23,576	53,401	44.1%	374,130	785,995	47.6%
姉妹都市提携自治体数	(件)	105	191	55.0%	638	1,773	36.0%
国際航空路線数	(路線)	38	40	95.0%	283	403	70.2%
外国人入国者数	(人)	4,043,947	4,222,099	95.8%	27,879,280	33,213,486	83.9%
輸出額	(億円)	42,268	67,189	62.9%	413,268	769,317	53.7%

「アジア度」：上記表中の6項目について、九州の数値に占める対アジアの割合

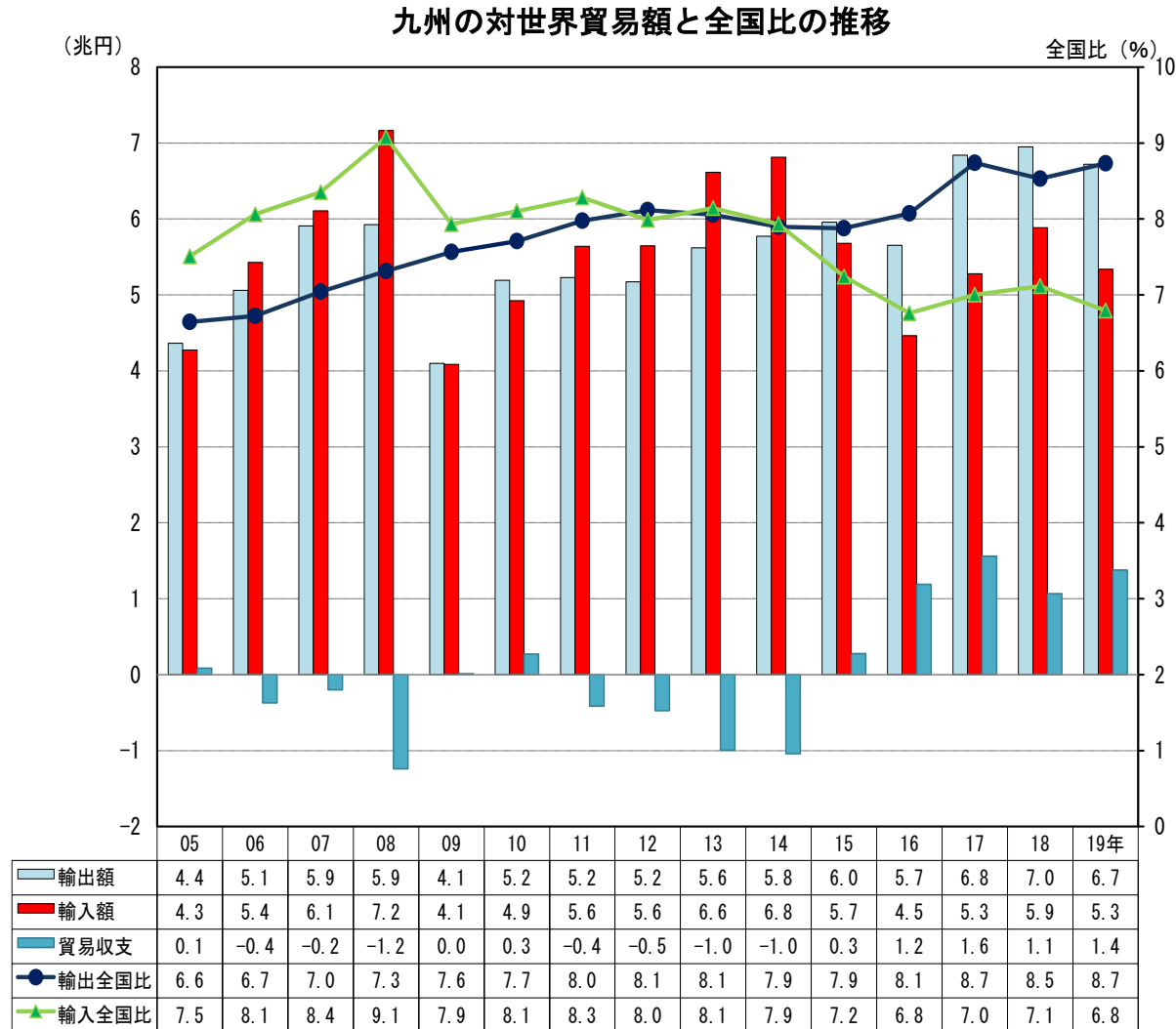
備考：「輸入額」「外国人入国者数」「輸出額」は2018年の数値、「海外進出企業件数」は2019年までの累計件数、「姉妹都市提携自治体数」は2020年10月時点、「国際航空路線数」は下記出所より確認できる数値を掲載。

出所：財務省「貿易統計」、(公財)九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」、東洋経済新報社「海外進出企業総覧2020(国別編)」、法務省「出入国管理統計年報」、JTBパブリッシング「JTB時刻表2019年4月号」、(一財)自治体国際化協会ホームページより九州経済産業局作成。

貿易額推移

●2019年の九州の貿易額

輸出総額：6兆7,189億円（対前年 3.3%減） → 3年ぶりのマイナス
 輸入総額：5兆3,401億円（対前年 9.3%減） → 3年ぶりのマイナス
 差引額：1兆3,789億円（対前年 29.5%増） → 5年連続の輸出超過



品目別貿易動向

○輸出品目（輸出額多い順）

自動車、半導体等電子部品、船舶類、鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ、半導体製造装置。

→ 輸送用機器、電子機器関連を中心としたこれら6品目で全体の6割弱。

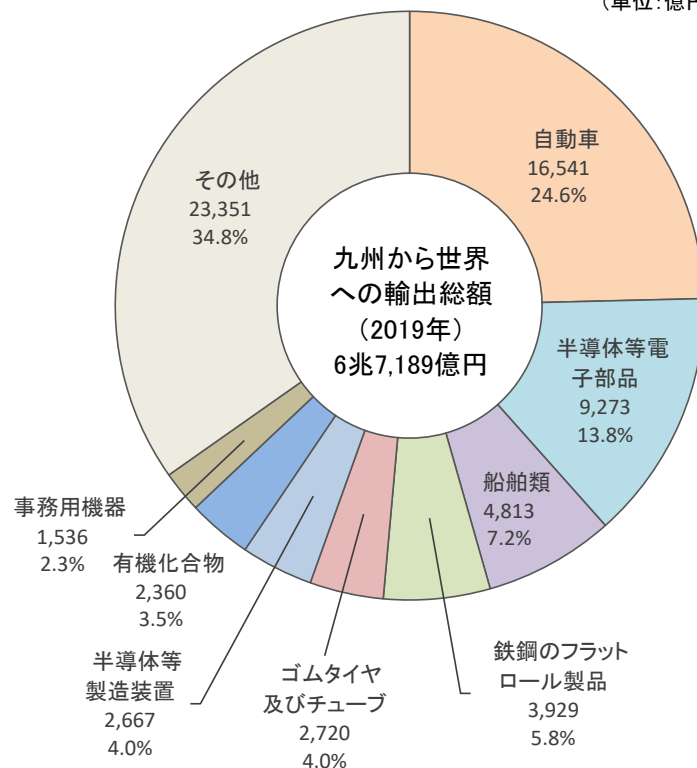
○輸入品目（輸入額多い順）

原油及び粗油、石炭、非鉄金属鉱、半導体等電子部品、鉄鉱石、石油ガス類、自動車の部分品。

→ 鉱物性燃料の比率が大きく、次いで原料品である鉄鉱石、輸送用・電子機械等で全体の約5割。

九州から世界への輸出品目

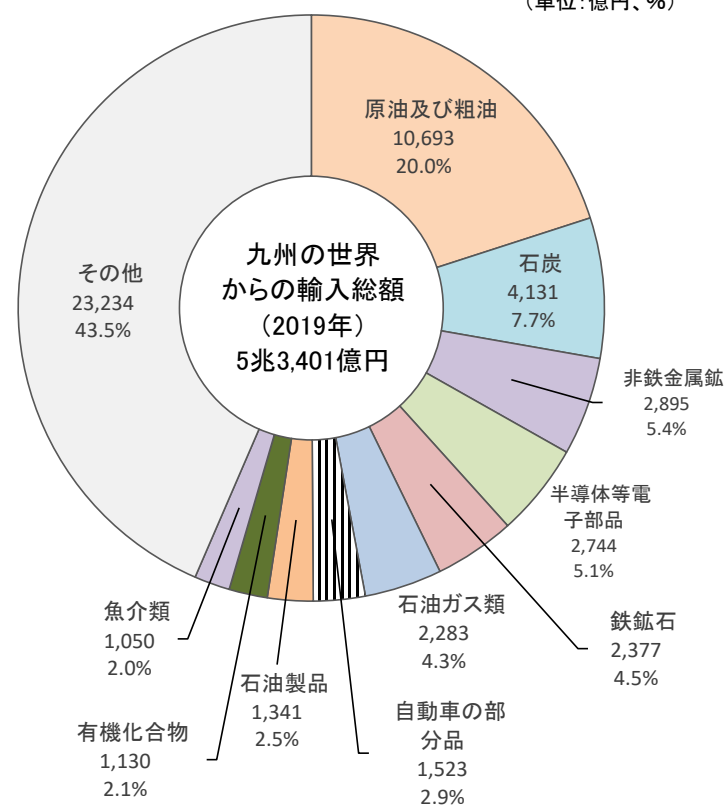
(単位:億円、%)



寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+1.4%）、船舶類（+1.2%）等
 寄与度（減少分）：半導体等製造装置（▲2.2%）、映像機器（▲0.8%）等

九州の世界からの輸入品目

(単位:億円、%)



寄与度（増加分）：鉄鉱石（+0.4%）、家庭用電気機器（+0.1%）等
 寄与度（減少分）：原油及び粗油（▲3.6%）、石油ガス類（▲2.4%）等

※寄与度とは、貿易統計において(前期との差額)÷(前期の輸出または輸入総額)で算出され、当該項目の増減が輸出または輸入の総額の変動にどれくらい影響するかを示す。
 単位は%。なお、寄与度は、増加分・減少分ともに上位2品目を掲載。以下同じ。

国・地域別貿易動向

○輸出相手国・地域（輸出額多い順）

中国、米国、韓国、香港、台湾

→ 2000年と比べると、中国をはじめアジアの割合が大きく増加（48.3%→62.9%）し、北米の割合が減少（26.7%→15.0%）。1兆円を超える貿易相手国は中国のみ。

○輸入相手国・地域（輸入額多い順）

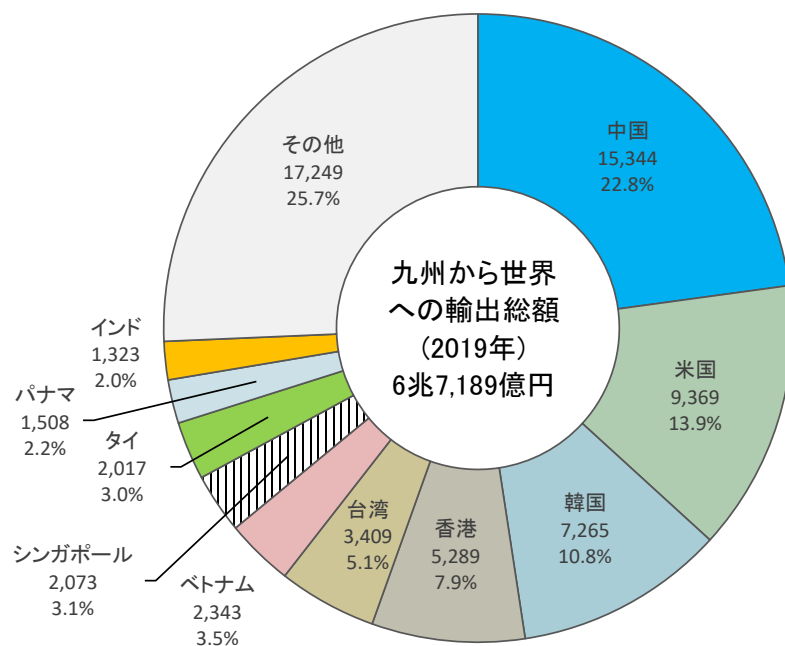
中国、オーストラリア、米国、アラブ首長国連邦、台湾

→ アジアの割合は2000年と比べると若干の減少（44.9%→44.1%）。

中国（14.4%→18.8%）、台湾（3.9%→5.2%）は増加、中東（26.9%→18.0%）、韓国（8.2%→4.9%）は減少。

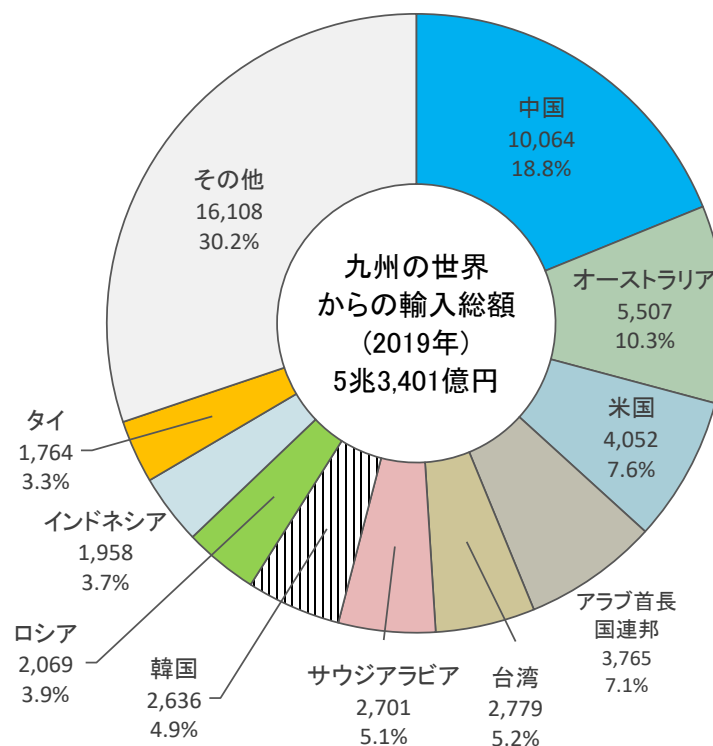
九州の輸出相手国・地域

（単位：億円、%）



九州の輸入相手国・地域

（単位：億円、%）



寄与度（増加分）：香港（+1.4%）、パナマ（+0.5%）等
寄与度（減少分）：韓国（▲1.5%）、アラブ首長国連邦（▲1.5%）等

寄与度（増加分）：ロシア（+0.9%）、ブラジル（+0.8%）等
寄与度（減少分）：サウジアラビア（▲3.1%）、オーストラリア（▲1.7%）等

貿易収支

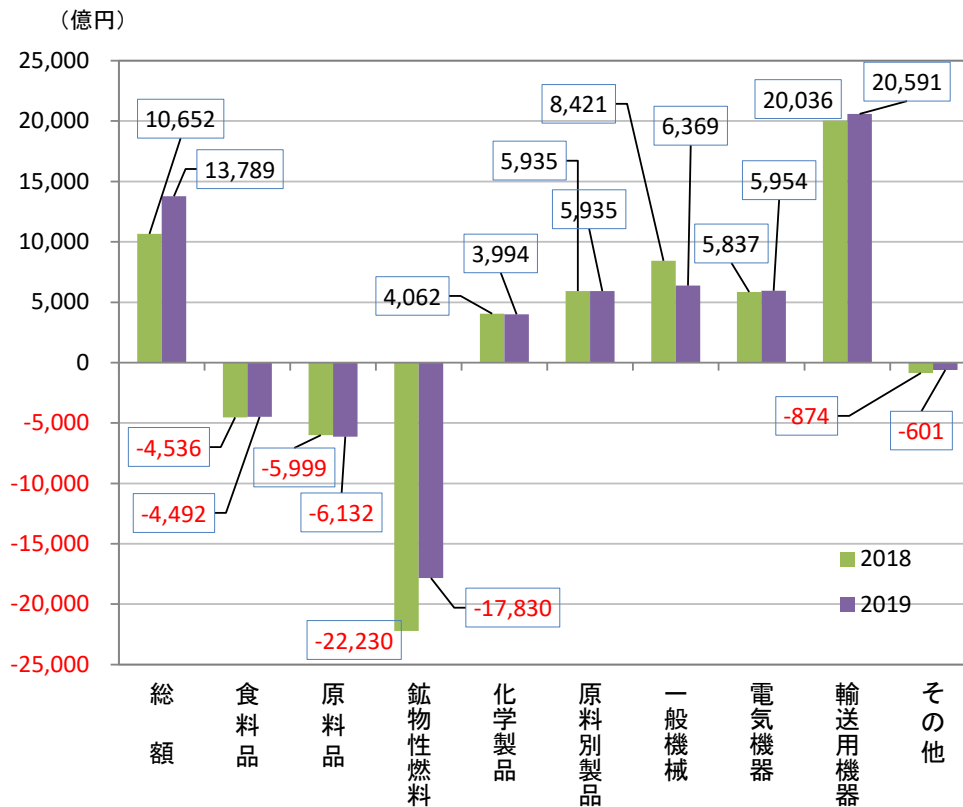
○2019年の九州の貿易収支は＋１兆３，７８９億円

→ ５年連続の輸出超過

○品目別の輸出入超過の状況は前年と大きく変わらないものの、最大の輸入超過である鉱物性燃料の超過額が減少

→ 前年に比べ3,137億円の黒字幅増加。

九州の品目別貿易収支（2018-2019年）



九州の相手国・地域別貿易収支（2018, 2019年）

(単位: 億円)

相手国・地域	輸出超過額	相手国・地域	輸入超過額
米国	5,317	オーストラリア	▲4,478
中国	5,280	アラブ首長国連邦	▲2,485
香港	5,102	サウジアラビア	▲2,319
韓国	4,630	ロシア	▲1,750
シンガポール	1,928	ブラジル	▲1,381
九州の貿易収支額(2019年) 1兆3,789億円			

相手国・地域	輸出超過額	相手国・地域	輸入超過額
韓国	5,421	オーストラリア	▲5,417
中国	5,197	サウジアラビア	▲4,202
米国	4,928	インドネシア	▲1,814
香港	4,152	クウェート	▲1,387
シンガポール	1,813	ロシア	▲1,114
九州の貿易収支額(2018年) 1兆652億円			

韓国との貿易動向

○2019年の九州の対韓国貿易額

輸出総額：7, 265億円（対前年▲12.7%） → 2年連続のマイナス

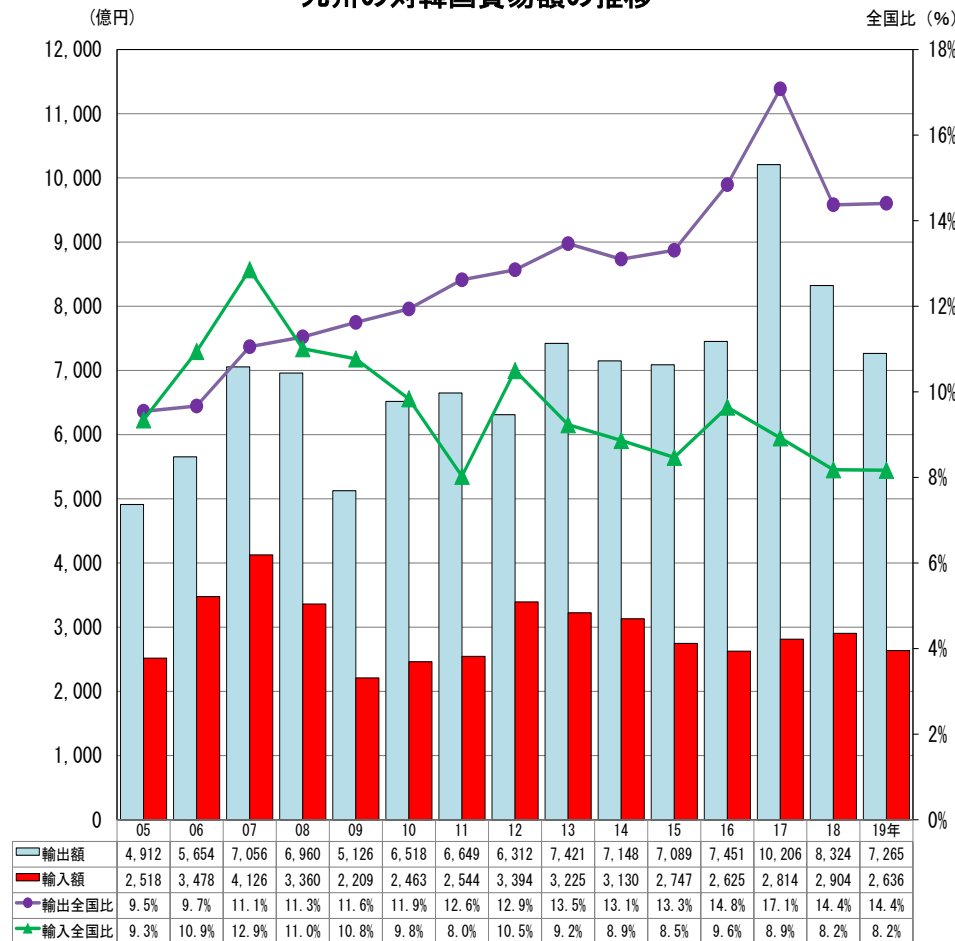
輸入総額：2, 636億円（対前年▲9.2%） → 3年ぶりのマイナス

差引額：4, 630億円（対前年▲14.6%）

○輸出品目（輸出額多い順） 半導体等電子部品、半導体等製造装置、自動車

○輸入品目（輸入額多い順） 鉄鋼のフラットロール製品、石油製品、自動車の部分品

九州の対韓国貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州の主な対韓国輸出入品目

（単位：億円、%）

【輸出】

主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,543	21.2%	▲0.0%	62.3%
半導体等製造装置	一般機械	741	10.2%	▲54.0%	23.4%
自動車	輸送用機器	587	8.1%	▲5.2%	84.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	524	7.2%	▲6.4%	20.9%
有機化合物	元素及び化合物	442	6.1%	28.9%	16.2%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	254	3.5%	▲9.6%	17.8%
科学光学機器	精密機器類	239	3.3%	▲17.5%	12.8%
電池	電気機器	103	1.4%	8.6%	51.4%
無機化合物	元素及び化合物	78	1.1%	▲15.4%	8.2%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	76	1.1%	26.9%	69.8%
その他		2,677	36.8%	-	-
総 額		7,265	100%	▲12.7%	14.4%

寄与度（増加分）：有機化合物（+1.2%）、コンデンサー（+0.2%）等

寄与度（減少分）：半導体等製造装置（▲10.5%）、科学光学機器（▲0.6%）等

【輸入】

主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	365	13.9%	5.8%	15.2%
石油製品	石油及び同製品	231	8.8%	▲29.0%	5.5%
自動車の部分品	輸送用機器	187	7.1%	▲17.3%	27.4%
有機化合物	元素及び化合物	145	5.5%	▲42.0%	11.5%
電気回路等の機器	電気機器	83	3.2%	49.0%	34.9%
半導体等電子部品	電気機器	72	2.7%	▲22.8%	4.7%
野菜	果実及び野菜	61	2.3%	15.4%	19.7%
魚介類	電気機器	53	2.0%	16.2%	10.4%
半導体等製造装置	一般機械	48	1.8%	▲19.3%	11.9%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	48	1.8%	33.7%	9.8%
その他		1,341	50.9%	-	-
総 額		2,636	100%	▲9.2%	8.2%

寄与度（増加分）：電気回路等の機器（+0.9%）、

鉄鋼のフラットロール製品（+0.7%）等

寄与度（減少分）：有機化合物（▲3.6%）、石油製品（▲3.3%）等

中国との貿易動向

○2019年の九州の対中国貿易額

輸出総額：1兆5,344億円（対前年▲0.1%） → 3年ぶりのマイナス

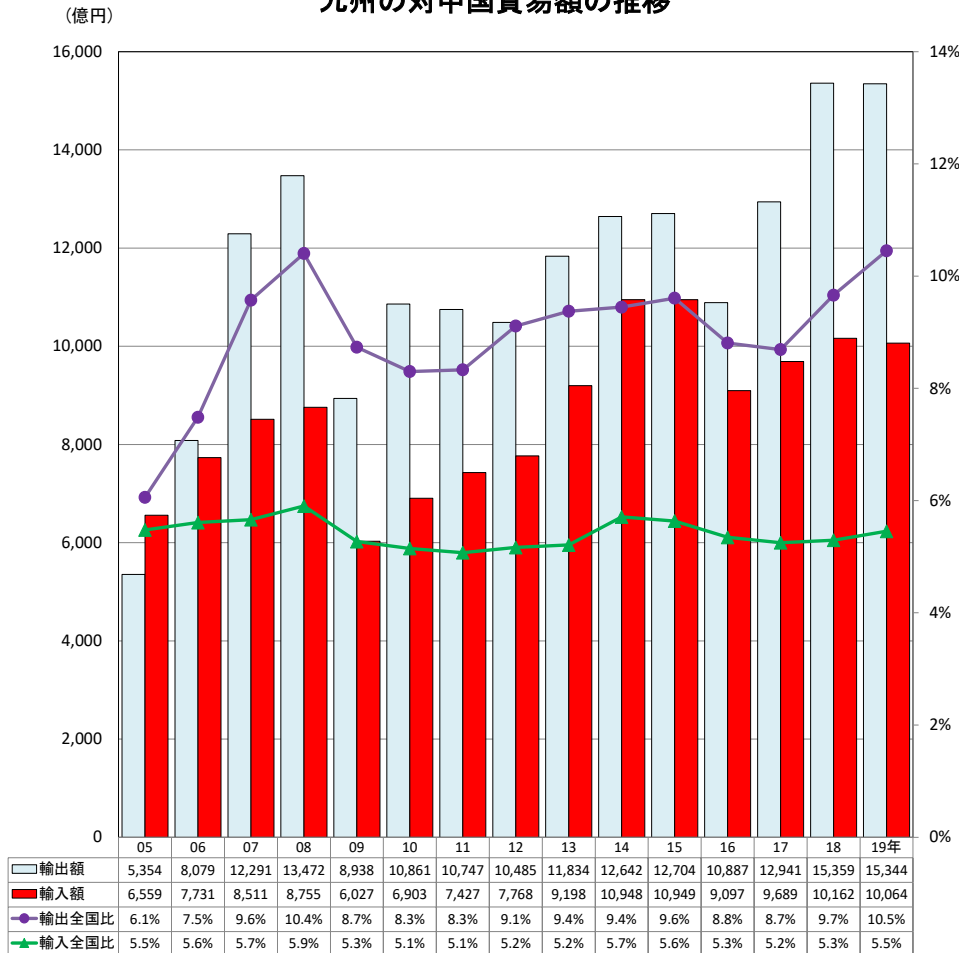
輸入総額：1兆64億円（対前年▲1.0%） → 3年ぶりのマイナス

差引額：5,280億円（対前年+1.6%）

○輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等製造装置、有機化合物

○輸入品目（輸入額多い順）半導体等電子部品、自動車の部分品、有機化合物

九州の対中国貿易額の推移



九州の主な対中国輸出入品目

（単位：億円、%）

【輸出】

主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	6,247	40.7%	27.3%	79.4%
半導体等製造装置	一般機械	1,514	9.9%	▲33.3%	16.8%
有機化合物	元素及び化合物	1,011	6.6%	5.9%	14.8%
半導体等電子部品	電気機器	525	3.4%	▲24.6%	5.4%
銅及び同合金	非鉄金属	517	3.4%	▲11.8%	25.3%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	464	3.0%	▲24.6%	13.7%
原動機	一般機械	428	2.8%	▲21.8%	9.3%
科学光学機器	精密機器類	157	1.0%	▲27.0%	2.1%
電気回路等の機器	電気機器	135	0.9%	▲20.5%	2.6%
事務用機器	一般機械	125	0.8%	4.9%	5.7%
その他		4,220	27.5%	-	-
総 額		15,344	100%	-0.1%	10.5%

寄与度（増加分）：自動車（+8.7%）、有機化合物（+0.4%）等

寄与度（減少分）：半導体等製造装置（▲4.9%）、半導体等電子部品（▲1.1%）等

【輸入】

主な輸入品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	781	7.8%	41.8%	16.0%
自動車の部分品	輸送用機器	588	5.8%	▲6.1%	17.9%
無機化合物	元素及び化合物	501	5.0%	15.1%	18.5%
有機化合物	元素及び化合物	473	4.7%	4.6%	13.2%
家庭用電気機器	電気機器	298	3.0%	21.3%	6.7%
電気回路等の機器	電気機器	251	2.5%	▲10.4%	10.0%
野菜	果実及び野菜	241	2.4%	▲4.8%	9.2%
重電機器	電気機器	234	2.3%	43.9%	6.5%
加熱用・冷却用機器	一般機械	224	2.2%	2.3%	7.9%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	222	2.2%	▲8.6%	2.5%
その他		6,250	62.1%	-	-
総 額		10,064	100%	▲1.0%	5.5%

寄与度（増加分）：無機化合物（+1.9%）、石油製品（+0.7%）等

寄与度（減少分）：電気回路等の機器（▲0.9%）、自動車の部分品（▲0.6%）等

台湾との貿易動向

○2019年の九州の対台湾貿易額

輸出総額：3,409億円（対前年▲8.9%） → 2年連続のマイナス

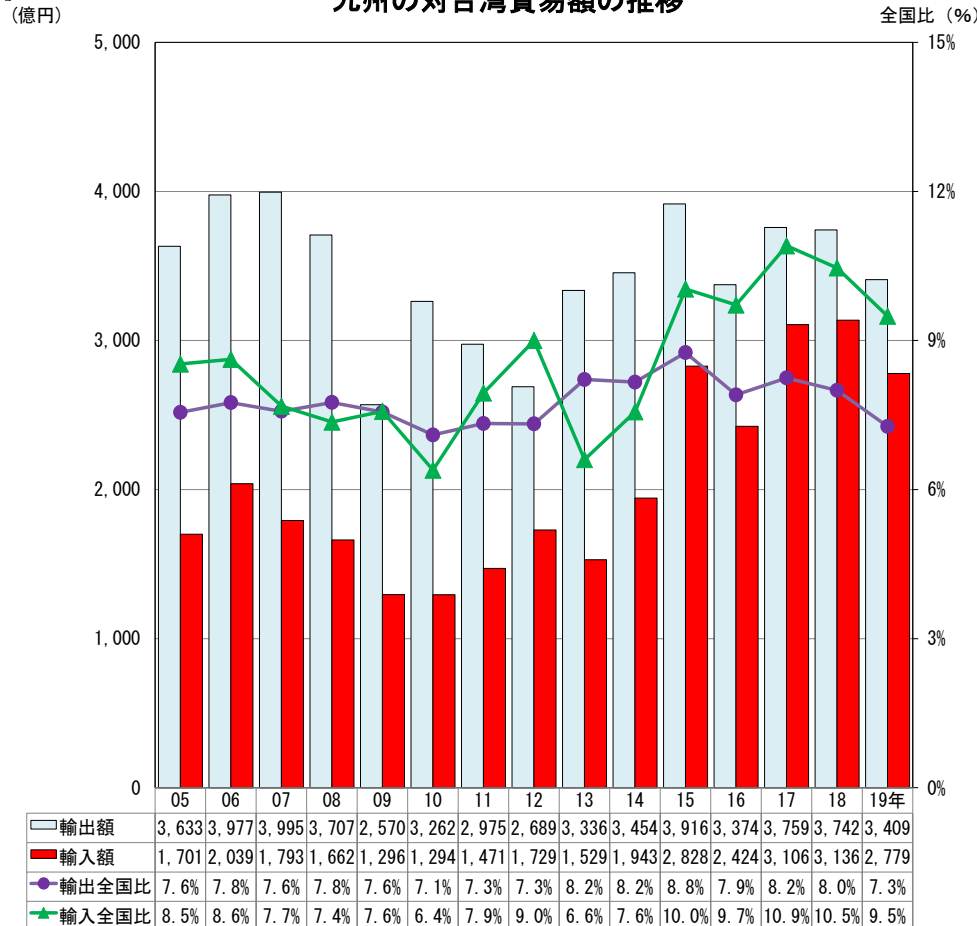
輸入総額：2,779億円（対前年▲11.4%） → 3年ぶりのマイナス

差引額：630億円（対前年+3.9%）

○輸出品目（輸出額多い順） 自動車、半導体等製造装置、半導体等電子部品

○輸入品目（輸入額多い順） 半導体等電子部品、科学光学機器、有機化合物

九州の対台湾貿易額の推移



九州の主な対台湾輸出入品目

（単位：億円、%）

【輸出】

主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	659	19.3%	11.9%	22.9%
半導体等製造装置	一般機械	324	9.5%	67.1%	5.6%
半導体等電子部品	電気機器	279	8.2%	▲22.2%	3.9%
有機化合物	元素及び化合物	216	6.3%	▲19.3%	10.0%
銅及び同合金	非鉄金属	207	6.1%	▲8.8%	18.3%
科学光学機器	精密機器類	98	2.9%	0.7%	6.4%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	81	2.4%	▲41.5%	14.6%
無機化合物	元素及び化合物	70	2.1%	▲26.2%	12.1%
(鉄鋼くず)	鉄鋼	34	1.0%	28.9%	13.6%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	32	0.9%	▲9.4%	6.8%
その他		1,407	41.3%	-	-
総 額		3,409	100.0%	▲8.9%	7.3%

寄与度（増加分）：半導体等製造装置（+3.5%）、自動車（+1.9%）等

寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲2.1%）、
鉄鋼のフラットロール製品（▲1.5%）等

【輸入】

主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,732	62.3%	▲10.2%	15.7%
科学光学機器	精密機器類	108	3.9%	▲24.9%	14.5%
有機化合物	元素及び化合物	51	1.8%	▲45.0%	12.7%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	48	1.7%	▲36.9%	33.1%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	26	0.9%	-	49.6%
プラスチック製品	その他の雑製品	23	0.8%	0.3%	6.7%
石油製品	石油及び同製品	21	0.7%	8845.9%	14.0%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	17	0.6%	▲23.1%	2.3%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	16	0.6%	17.1%	18.1%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	15	0.6%	24.2%	6.3%
その他		723	26%	-	-
総 額		2,779	100.0%	▲11.4%	9.5%

寄与度（増加分）：石油製品（+0.7%）、事務用機器（+0.3%）等

寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲7.1%）、有機化合物（▲1.5%）等

香港との貿易動向

○2019年の九州の対香港貿易額

輸出総額：5, 289 億円（対前年+22.1%） → 8年連続のプラス

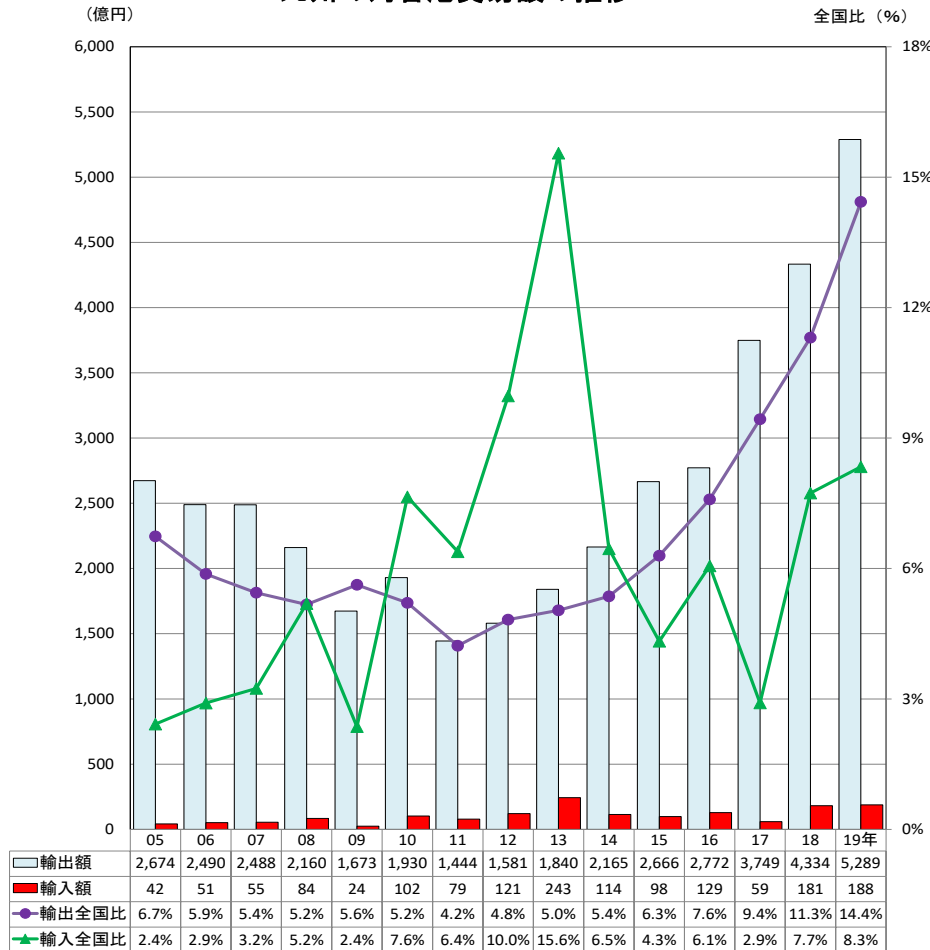
輸入総額：188 億円（対前年+3.4%） → 2年連続のプラス

差引額：5, 102 億円（対前年+22.9%）

○輸出品目（輸出額多い順） 半導体等電子部品、電気回路等の機器、船舶類

○輸入品目（輸入額多い順） 魚介類、非鉄卑金属くず、鉄鋼くず

九州の対香港貿易額の推移



九州の主な対香港輸出入品目

【輸出】

（単位：億円、%）

主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	4,251	80.4%	34.9%	57.4%
電気回路等の機器	電気機器	164	3.1%	▲12.6%	7.8%
船舶類	輸送用機器	122	2.3%	▲12.7%	40.1%
自動車	輸送用機器	40	0.8%	▲19.9%	5.1%
化粧品	精油・香料及び化粧品類	39	0.7%	214.0%	2.9%
建設用・鉱山用機械	一般機械	37	0.7%	▲41.9%	10.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	25	0.5%	14.1%	43.5%
貴石等の製品類	その他の雑製品	22	0.4%	▲17.4%	2.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	20	0.4%	14.5%	11.1%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	18	0.3%	34.1%	4.9%
その他		551	10.4%	-	-
総 額		5,289	100.0%	22.1%	14.4%

寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+25.4%）、化粧品（+0.6%）等

寄与度（減少分）：建設用・鉱山用機械（▲0.6%）、コンデンサー（▲0.6%）等

【輸入】

主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
魚介類	魚介類及び同調製品	156.66	83.46%	11.8%	66.3%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	5.33	2.84%	▲1.5%	24.8%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	0.47	0.25%	▲83.4%	82.1%
無機化合物	元素及び化合物	0.21	0.11%	-	32.7%
がん具及び遊戯用具	その他の雑製品	0.11	0.06%	40.5%	1.9%
塩化ビニール樹脂	プラスチック	0.08	0.04%	15.9%	2.1%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.05	0.03%	▲48.1%	1.2%
時計及び部分品	精密機器類	0.03	0.02%	149.4%	0.1%
電気計測機器	電気機器	0.03	0.01%	68.9%	0.6%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	0.02	0.01%	-	0.6%
その他		24.72	13.17%	-	-
総 額		187.71	100.00%	3.4%	8.3%

寄与度（増加分）：魚介類（+9.1%）、がん具及び遊戯用具（+0.02%）等

寄与度（減少分）：鉄鋼くず（▲1.3%）、非鉄卑金属くず（▲0.05%）等

米国との貿易動向

○2019年の九州の対米国貿易額

輸出総額：9,369億円（対前年▲0.4%） → 2年連続のマイナス

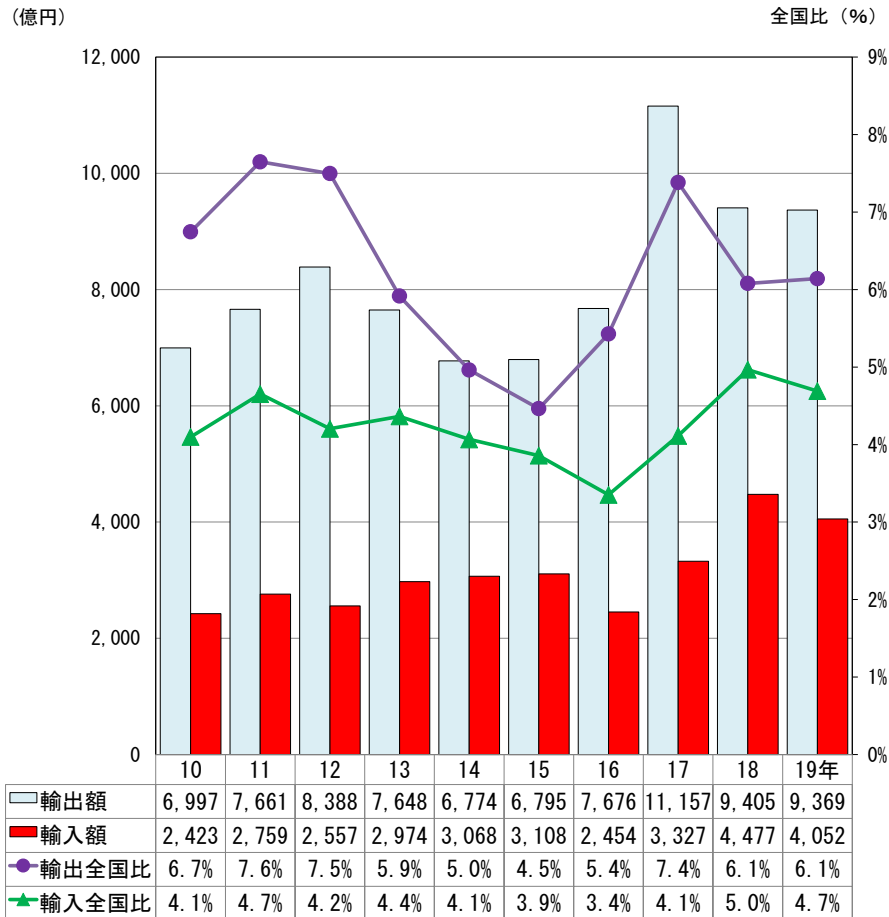
輸入総額：4,052億円（対前年▲9.5%） → 3年ぶりのマイナス

差引額：5,317億円（対前年+7.9%）

○輸出品目（輸出額多い順） 自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブ

○輸入品目（輸入額多い順） 石油ガス類、とうもろこし、原油及び粗油

九州の対米国貿易額の推移



九州の主な対米国輸出入品目

(単位: 億円、%)

【輸出】

主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	4,761	50.8	5.6	11.1
事務用機器	一般機械	636	6.8	11.6	16.7
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	515	5.5	25.1	38.3
原動機	一般機械	393	4.2	▲2.5	4.4
映像機器	電気機器	278	3.0	▲23.0	19.6
自動車の部分品	輸送用機器	172	1.8	▲15.0	2.1
半導体等電子部品	電気機器	171	1.8	▲31.7	8.1
建設用・鉱山用機械	一般機械	161	1.7	18.9	3.6
魚介類	魚介類及び同調製品	146	1.6	12.3	63.1
自動車用等の電気機器	電気機器	126	1.3	▲9.9	7.1
その他		2,011	21.5	-	-
総 額		9,369	100	▲0.4	6.1

寄与度（増加分）：映像機器（+1.1%）、二輪自動車類（+1.0%）等

寄与度（減少分）：自動車（▲16.7%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.0%）等

【輸入】

概況品名	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	555	13.7	▲0.8	9.6
とうもろこし	穀物及び同調製品	531	13.1	▲31.7	19.9
原油及び粗油	石油及び同製品	400	9.9	▲36.4	22.5
石炭	石炭、コークス及び練炭	315	7.8	▲14.8	14.6
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	218	5.4	768.4	27.4
石油製品	石油及び同製品	156	3.8	1.8	11.9
魚介類	魚介類及び同調製品	154	3.8	13.9	12.0
鉄鉱石	金属鉱及びくず	142	3.5	▲37.9	6.1
有機化合物	元素及び化合物	139	3.4	▲5.7	11.2
無機化合物	元素及び化合物	133	3.3	▲39.7	0.8
その他		1,308	32.3	-	-
総 額		4,052	100	▲9.5	4.7

寄与度（増加分）：原油及び粗油（+15.0%）、とうもろこし（+6.0%）等

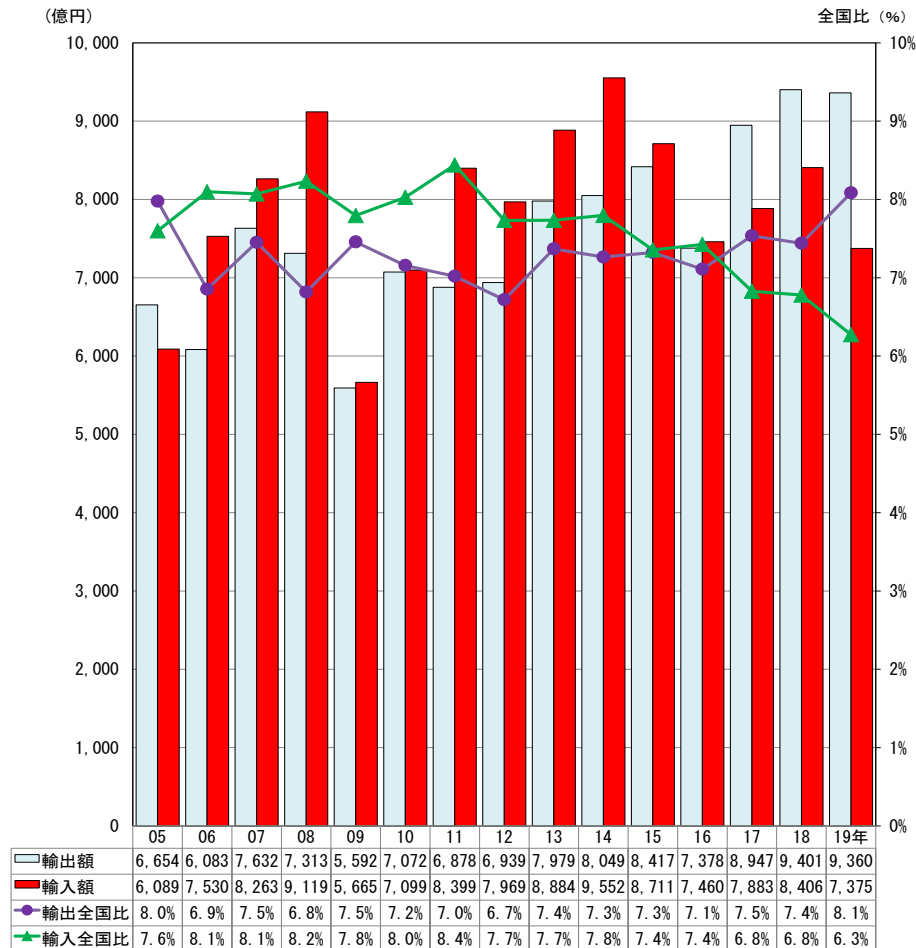
寄与度（減少分）：米（▲1.0%）、電気計測機器（▲0.5%）等

ASEANとの貿易動向①

2019年の九州の対ASEAN貿易額

輸出総額：9,360億円（対前年▲0.4%） → 3年ぶりのマイナス
 輸入総額：7,375億円（対前年▲12.3%） → 3年ぶりのマイナス
 差引額：1,985億円（対前年+99.6%）

九州の対ASEAN貿易額の推移



九州のASEAN域内における国別輸出入動向

(単位: 億円、%)

国名	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
ベトナム	2,343	25.0%		2.8%	13.0%	1,501	20.4%	3.7%	0.6%	6.1%
タイ	2,017	21.6%	▲13.0%	▲3.2%	6.1%	1,764	23.9%	▲1.1%	▲0.2%	6.4%
シンガポール	2,073	22.2%		1.1%	9.4%	145	2.0%	▲5.8%	▲0.1%	1.7%
マレーシア	1,120	12.0%	▲14.1%	▲2.0%	7.7%	802	10.9%	▲19.7%	▲2.3%	4.2%
ブルネイ	5	0.1%	▲69.2%	▲0.1%	3.6%	1.1	0.014%	175.9%	0.0%	0.04%
フィリピン	833	8.9%	27.1%	1.9%	7.2%	1,121	15.2%	▲3.1%	▲0.4%	9.7%
インドネシア	874	9.3%	▲9.6%	▲1.0%	5.7%	1,958	26.5%	▲29.6%	▲9.8%	9.9%
カンボジア	38	0.4%	9.7%	0.04%	6.2%	40	0.5%	▲6.4%	▲0.03%	2.1%
ラオス	5	0.05%	▲18.6%	▲0.01%	4.3%	5	0.06%	▲2.1%	▲0.001%	2.8%
ミャンマー	51	0.5%	▲0.6%	▲0.003%	7.2%	38	0.5%	8.4%	0.04%	2.5%
ASEAN 計	9,360	100.0%	▲0.4%	▲0.4%	8.1%	7,375	100.0%	▲12.3%	▲12.3%	6.3%

ASEANとの貿易動向②

○輸出品目（輸出額多い順） 半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、船舶類、金（マネリーゴールドを除く）、自動車

○輸入品目（輸入額多い順） 絶縁電線及び絶縁ケーブル、天然ゴム、石炭、自動車の部分品、石油ガス類

九州の主な対ASEAN輸出入品目

【輸出】

主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	2,207	23.6%	15.8%	24.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	1,159	12.4%	▲17.5%	17.7%
船舶類	輸送用機器	946	10.1%	151.7%	34.2%
金（マネリーゴールドを除く）	金（マネリーゴールドを除く）	603	6.4%	▲9.3%	32.9%
自動車	輸送用機器	461	4.9%	▲3.1%	8.2%
有機化合物	元素及び化合物	343	3.7%	▲16.8%	22.0%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	270	2.9%	▲4.0%	16.8%
事務用機器	一般機械	209	2.2%	▲17.3%	8.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	186	2.0%	1.4%	39.1%
荷役機械	一般機械	160	1.7%	53.9%	11.6%
その他		2,817	30.1%	-	-
総 額		9,360	100.0%	▲0.4%	8.1%

寄与度（増加分）：船舶類（＋6.1%）、半導体等電子部品（＋3.2%）等

寄与度（減少分）：鉄鋼のフラットロール製品（▲2.6%）、原動機（▲1.6%）等

【輸入】

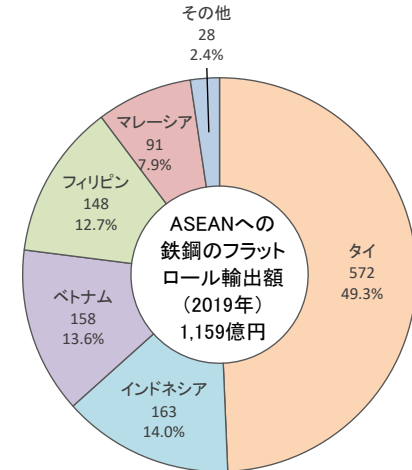
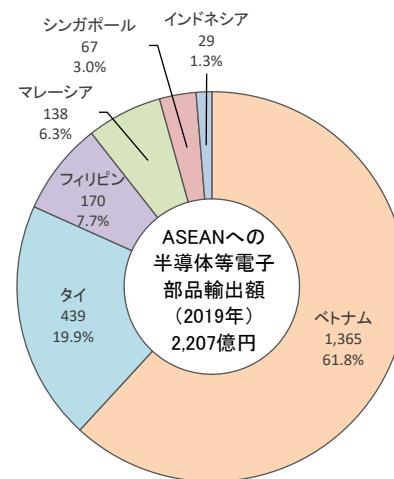
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	876	11.9%	▲0.5%	16.3%
天然ゴム	生ゴム	496	6.7%	▲2.1%	40.9%
石炭	石炭、コークス及び練炭	444	6.0%	▲33.6%	14.4%
自動車の部分品	輸送用機器	392	5.3%	0.5%	18.1%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	366	5.0%	▲31.2%	3.7%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	253	3.4%	▲66.8%	11.4%
音響・映像機器（含部品）	電気機器	219	3.0%	▲0.8%	6.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	126	1.7%	4.5%	7.9%
半導体等電子部品	電気機器	126	1.7%	▲10.3%	3.1%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品（除家具）	116	1.6%	▲13.0%	10.8%
その他		3,962	53.7%	-	-
総額		7,375	100%	▲12.3%	6.3%

寄与度（増加分）：通信機（＋0.4%）、家庭用電気機器（＋0.1%）等

寄与度（減少分）：非鉄金属鉱（▲6.0%）、石炭（▲2.7%）等

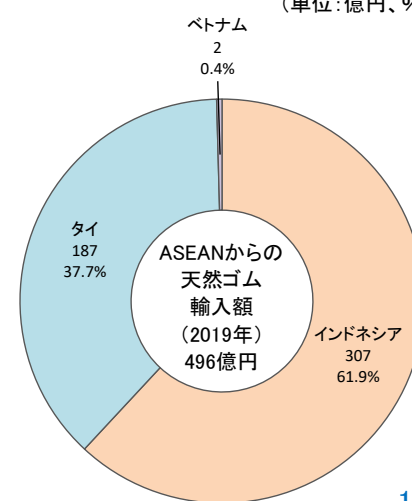
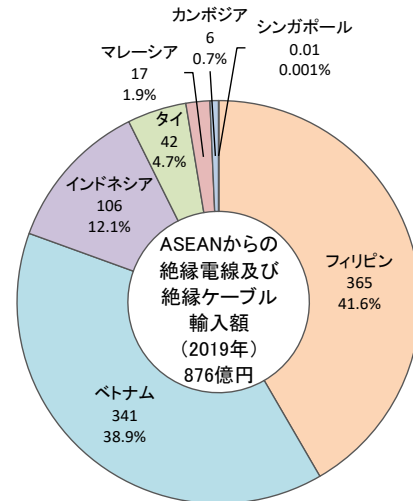
九州のASEANへの主要輸出品目別相手国

（単位：億円、%）



九州のASEANからの主要輸入品目別相手国

（単位：億円、%）

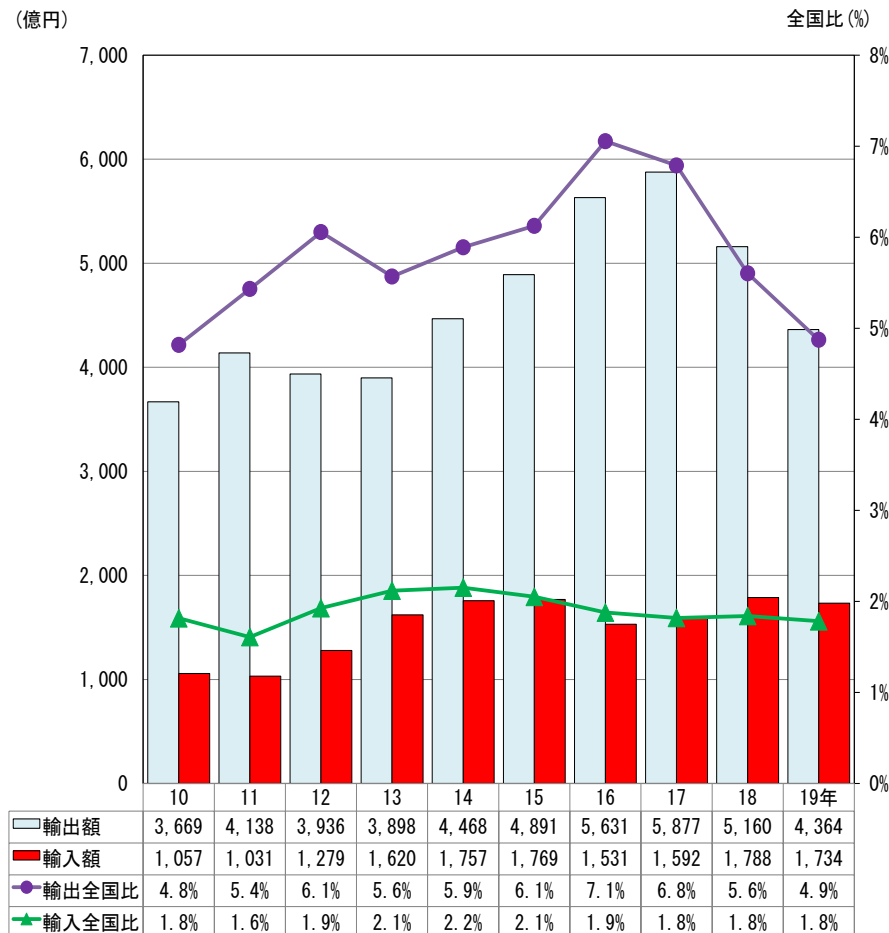


EUとの貿易動向①

●2019年の九州の対EU貿易額

輸出総額：4,364億円（対前年▲15.4%） → 2年連続のマイナス
 輸入総額：1,734億円（対前年▲3.1%） → 3年ぶりのマイナス
 差引額：2,630億円（対前年▲742億円）

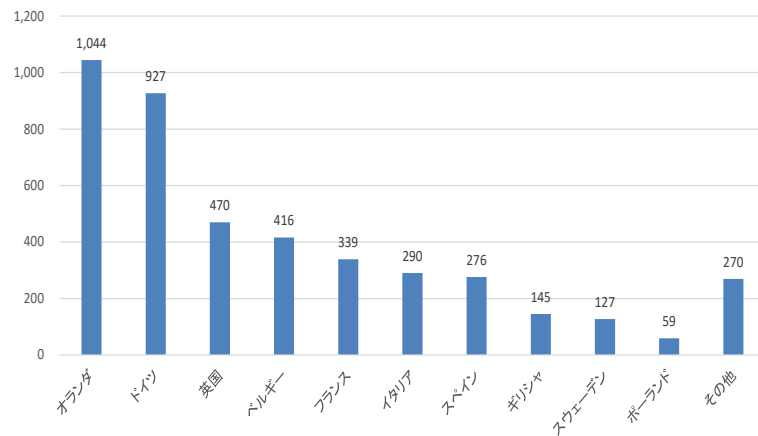
九州の対EU貿易額の推移



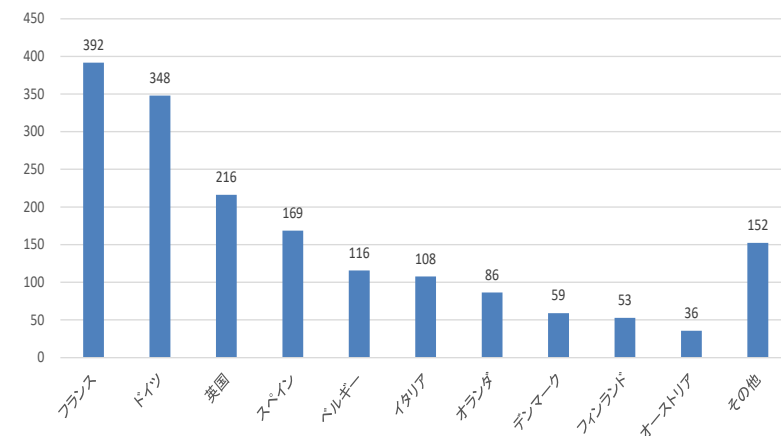
九州のEU域内における国別輸出入動向（上位10ヶ国）

【輸出】

(単位:億円)



【輸入】



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

EUとの貿易動向②

○輸出品目（輸出額多い順） 自動車、事務用機器、二輪自動車類、ゴムタイヤ及びチューブ、半導体等電子部品

○輸入品目（輸入額多い順） 航空機類、原動機、自動車の部分品、有機化合物、銅及び同合金

九州の主な対EU輸出入品目

【輸出】

主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	699	16.0%	6.0%	4.4%
事務用機器	一般機械	473	10.8%	▲13.4%	13.9%
二輪自動車類	輸送用機器	331	7.6%	▲37.4%	22.6%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	307	7.0%	▲16.8%	46.0%
半導体等電子部品	電気機器	291	6.7%	▲28.2%	16.7%
映像機器	電気機器	190	4.4%	▲39.4%	25.9%
船舶類	輸送用機器	190	4.3%	▲57.8%	28.3%
自動車用等の電気機器	電気機器	155	3.5%	5.2%	13.0%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	130	3.0%	▲32.7%	6.5%
建設用・鉱山用機械	一般機械	116	2.7%	45.4%	4.8%
その他		1,484	34.0%	-	-
総 計		4,364	100.0%	▲15.4%	4.9%

寄与度（増加分）：二輪自動車類（+2.6%）、映像機器（+2.1%）等

寄与度（減少分）：自動車（▲15.6%）、船舶類（▲6.8%）等

【輸入】

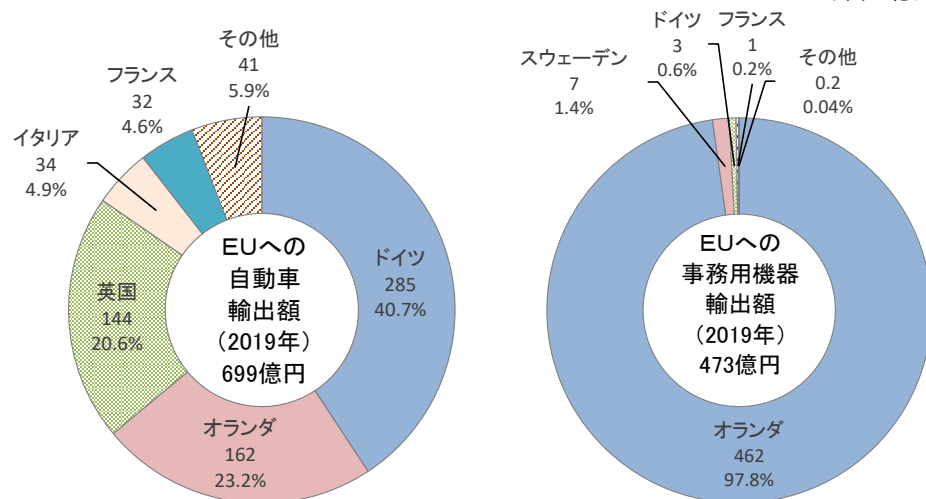
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
航空機類	輸送用機器	165	9.5%	▲24.4%	5.1%
原動機	一般機械	141	8.2%	13.0%	4.3%
自動車の部分品	輸送用機器	97	5.6%	4.3%	7.1%
有機化合物	元素及び化合物	82	4.8%	19.7%	1.7%
銅及び同合金	非鉄金属	71	4.1%	▲6.8%	58.4%
電気計測機器	電気機器	64	3.7%	5.4%	3.0%
豚・いのししの肉	肉類及び同調製品	60	3.5%	12.5%	3.3%
無機化合物	元素及び化合物	54	3.1%	▲4.3%	7.8%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	52	3.0%	29.2%	4.2%
紙及び板紙	紙類及び同製品	34	1.9%	58.3%	6.9%
その他		913	52.7%	-	-
総 額		1,734	100%	-3.1%	1.8%

寄与度（増加分）：航空機類（+10.3%）、銅及び同合金（+4.6%）等

寄与度（減少分）：原動機（▲8.8%）、電気計測機器（▲2.5%）等

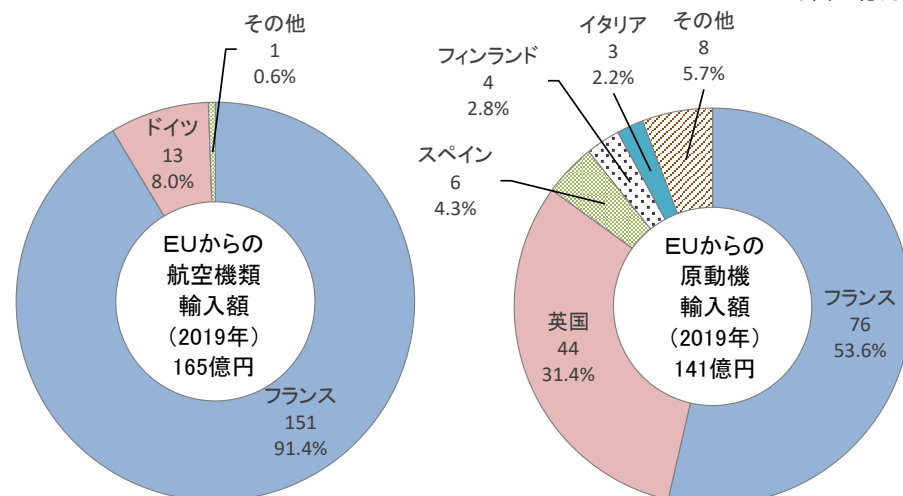
九州のEUへの主要輸出品目別相手国

(単位:億円、%)



九州のEUからの主要輸入品目別相手国

(単位:億円、%)



産業別貿易動向①（自動車）

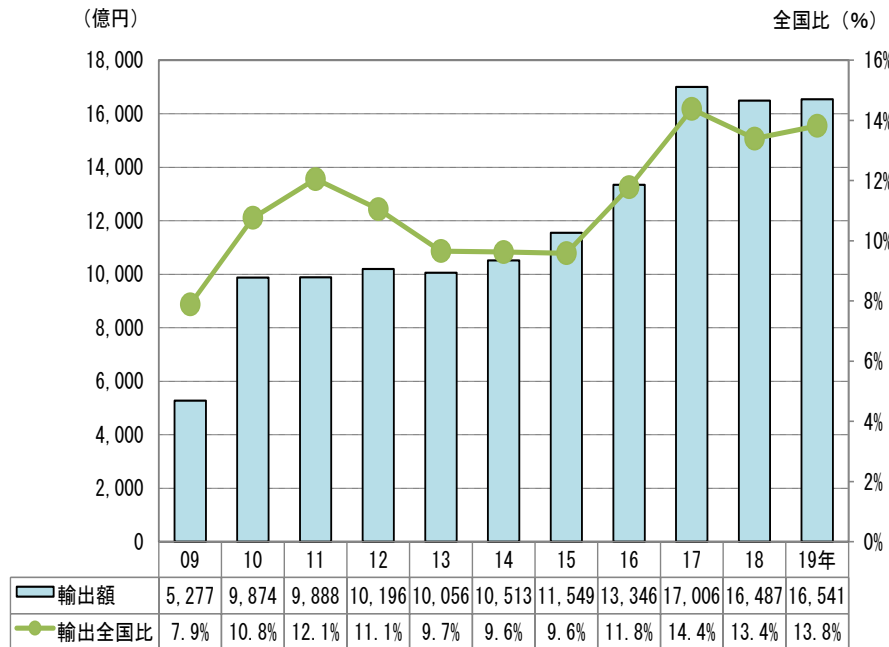
○2019年の九州の自動車輸出額

1兆6,541億円（対前年0.3%増）→ 2年ぶりの増加。輸出先は、中国が最も多く、次いで米国、アラブ首長国連邦、台湾

○2019年の九州の自動車生産台数

145万台（前年比1.7%増）→ 日本全体の生産台数（968万台）の15.0%

九州の自動車輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」、国際自動車工業会連合会HPより
九州経済産業局作成

九州の自動車の主な輸出相手国・地域

(単位:億円、%)

2014年			2019年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
米国	36,566	33.5%	米国	42,889	35.8%
オーストラリア	6,991	6.4%	中国	7,867	6.6%
中国	6,303	5.8%	オーストラリア	7,041	5.9%
ロシア	5,284	4.8%	アラブ首長国連邦	4,245	3.5%
アラブ首長国連邦	4,728	4.3%	カナダ	3,753	3.1%
その他	49,321	45.2%	その他	53,916	45.0%
計	109,194	100.0%	計	119,712	100.0%
九州			九州		
中国	3,048	29.0%	中国	6,247	37.8%
米国	2,566	24.4%	米国	4,761	28.8%
アラブ首長国連邦	1,016	9.7%	アラブ首長国連邦	924	5.6%
メキシコ	438	4.2%	台湾	659	4.0%
台湾	364	3.5%	韓国	587	3.5%
その他	3,081	29.3%	その他	3,362	20.3%
計	10,513	100.0%	計	16,541	100.0%

世界の自動車生産台数

(単位:万台、%)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
						対世界構成比	対前年
ヨーロッパ	2,043	2,117	2,149	2,163	2,133	2,131	23.2% ▲0.1%
米州	2,122	2,096	2,082	2,071	2,080	2,010	21.7% ▲3.4%
アジア大洋州	4,740	4,788	5,185	5,340	5,245	4,927	54.8% ▲6.1%
日本	977	928	920	969	973	968	10.2% ▲0.5%
九州	130	135	135	139	143	145	1.5% 1.7%
中国	2,373	2,457	2,812	2,902	2,781	2,572	29.1% ▲7.5%
韓国	452	456	423	411	403	395	4.2% ▲1.9%
インド	384	416	452	479	517	452	5.4% ▲12.7%
タイ	188	191	194	199	217	201	2.3% ▲7.1%
その他	365	341	383	379	354	338	3.7% ▲4.5%
アフリカ	72	84	90	100	112	111	1.2% ▲1.6%
世界計	8,978	9,084	9,506	9,675	9,571	9,179	100.0% ▲4.1%

産業別貿易動向②（半導体等電子部品）

○2019年の九州の半導体等電子部品貿易額

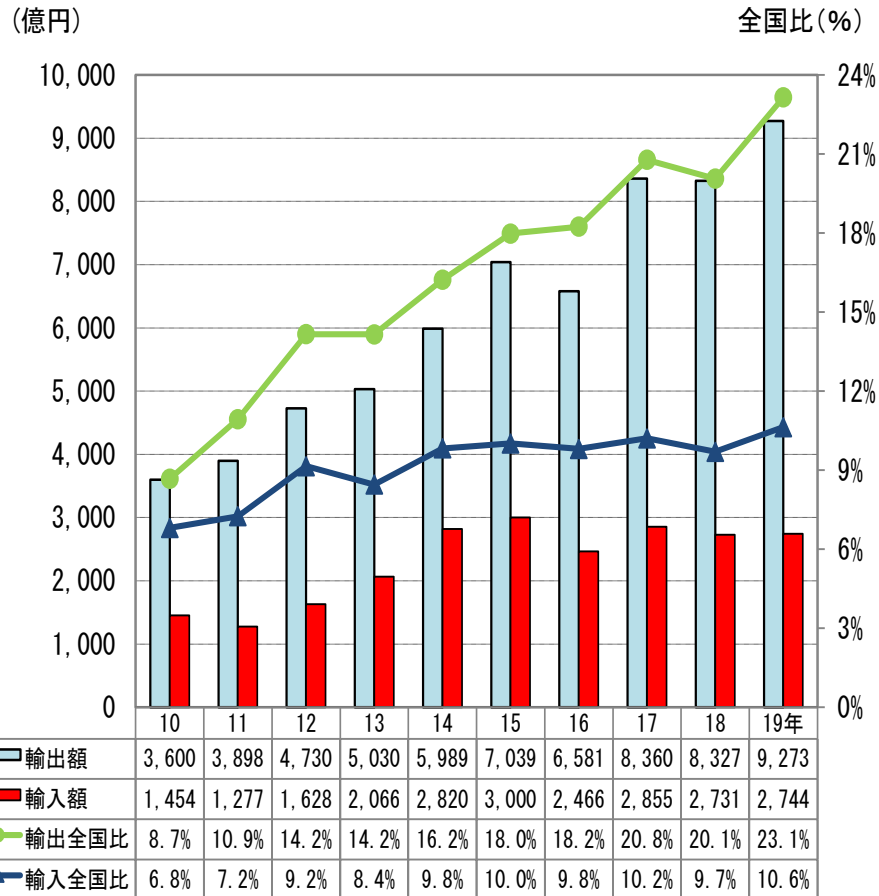
輸出 9, 273 億円（対前年11.4%増） → 2年ぶりのプラス、過去最高額

輸入 2, 744 億円（対前年 0.5%増） → 2年ぶりのプラス

○輸出相手国・地域（多い順） 香港向けが5割弱、次いで韓国、ベトナム

○輸入相手国・地域（多い順） 台湾が6割以上、次いで中国、韓国

九州の半導体等電子部品の貿易額推移



九州の半導体等電子部品の主な輸出入相手国・地域

(単位: 億円、%)

輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	9,806	24.5%	台湾	11,066	42.9%
香港	7,411	18.5%	中国	4,897	19.0%
台湾	7,136	17.8%	米国	2,771	10.7%
韓国	2,475	6.2%	韓国	1,544	6.0%
タイ	2,174	5.4%	マレーシア	1,430	5.5%
その他	11,057	27.6%	その他	4,106	15.9%
計	40,060	100.0%	計	25,814	100.0%
九州			九州		
香港	4,251	45.8%	台湾	1,732	63.1%
韓国	1,543	16.6%	中国	781	28.5%
ベトナム	1,365	14.7%	韓国	72	2.6%
中国	525	5.7%	フィリピン	41	1.5%
タイ	439	4.7%	マレーシア	36	1.3%
その他	1,150	12.4%	その他	82	3.0%
計	9,273	100.0%	計	2,744	100.0%

産業別貿易動向③（食料品）

○2019年の九州の食料品貿易額

輸出 764億円（前年比5.7%増）→ 輸出は2010年から毎年増加を続けている。

輸入 4,171億円（前年比0.4%増）→ 輸入は増減を繰り返しつつ、大幅な輸入超過が続いている。

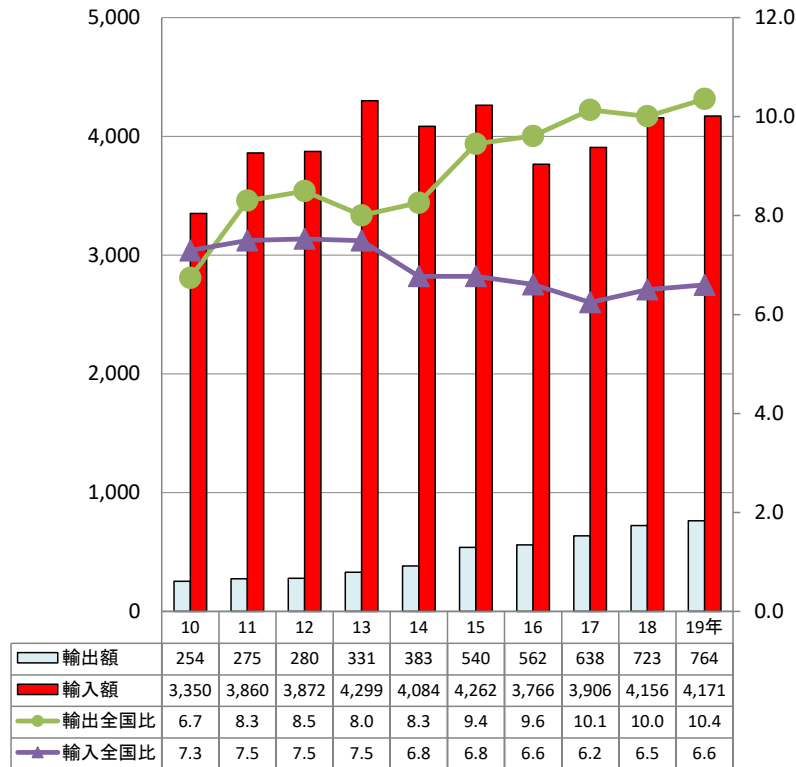
○輸出相手国・地域・品目（多い順） 米国、香港、韓国。魚介類及び同調製品のみで5割超。

輸入相手国・地域・品目（多い順） 米国、中国、ブラジル。穀物類及び同調製品と魚介類及び同調製品2品目で6割超。

九州の食料品の貿易額推移

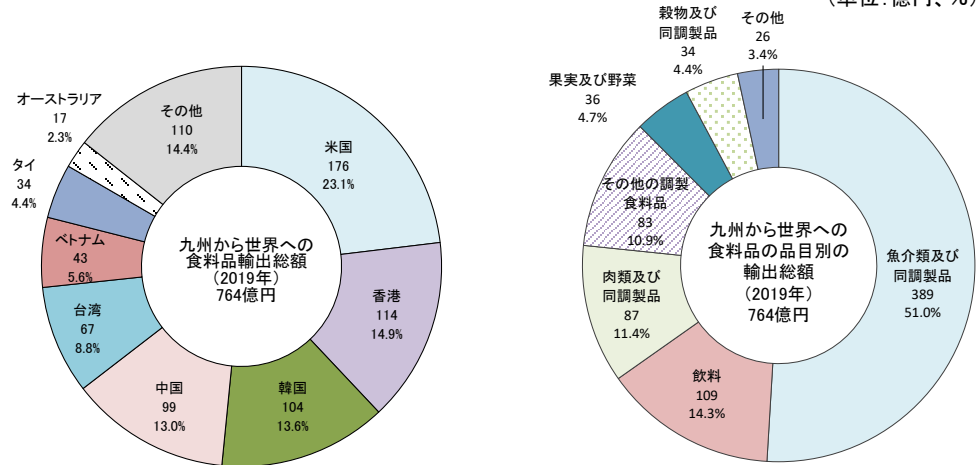
（億円）

全国比



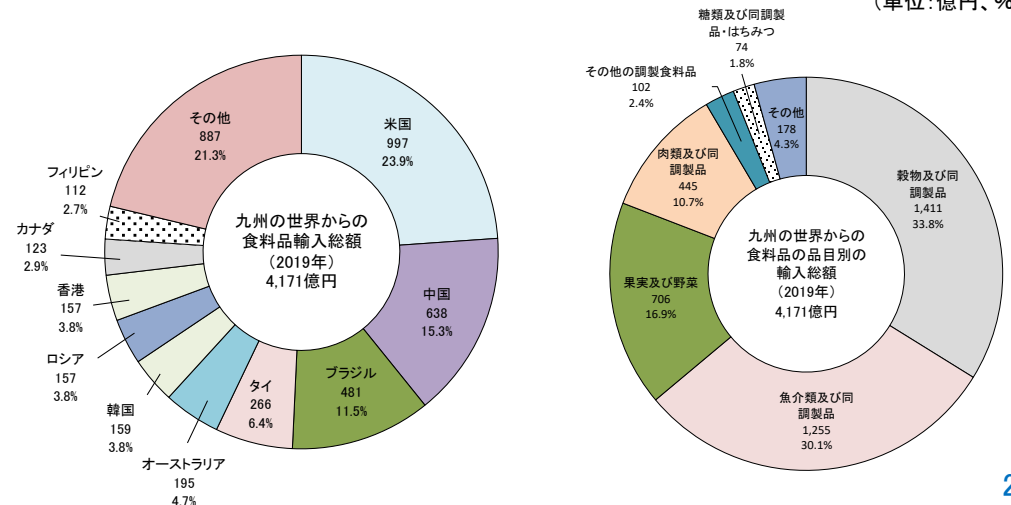
九州の食料品の主な輸出相手国・地域・品目

（単位：億円、%）



九州の食料品の主な輸入相手国・地域・品目

（単位：億円、%）



企業の海外進出

- 2019年までの九州企業の海外進出累計件数は1,220件（2019年の新規海外進出件数は31件）、そのうちアジアが 937件（九州の76.8%）を占める。このうち、中国は383件（同31.4%）、ASEAN地域は338件（同27.7%）。
 - 全国の海外進出累計件数は32,335件で、うちアジアが20,203件（全国の62.5%）を占める。
 - 県別にみると、福岡県が883件、九州の72.4%と最も多く、以下、長崎県、熊本県の順に多い。
- 業種別には、運輸204件、全体の16.7%、次いで小売・卸売163件、生産用機械器具関連135件

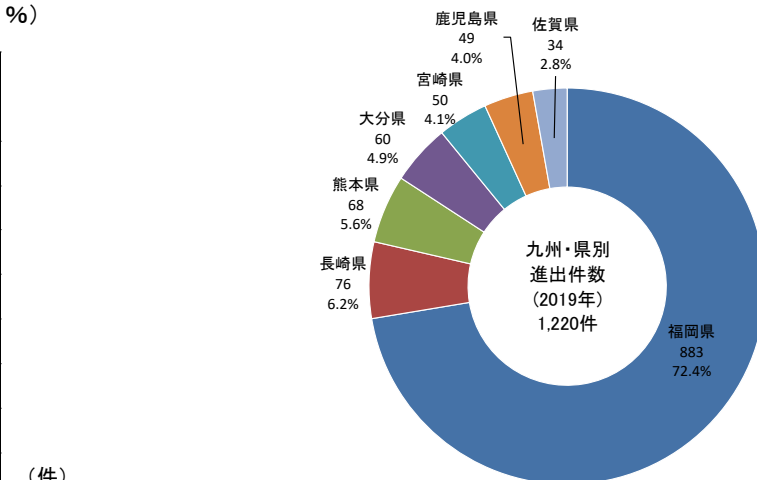
九州企業の国・地域別海外進出状況

（単位：件、%）

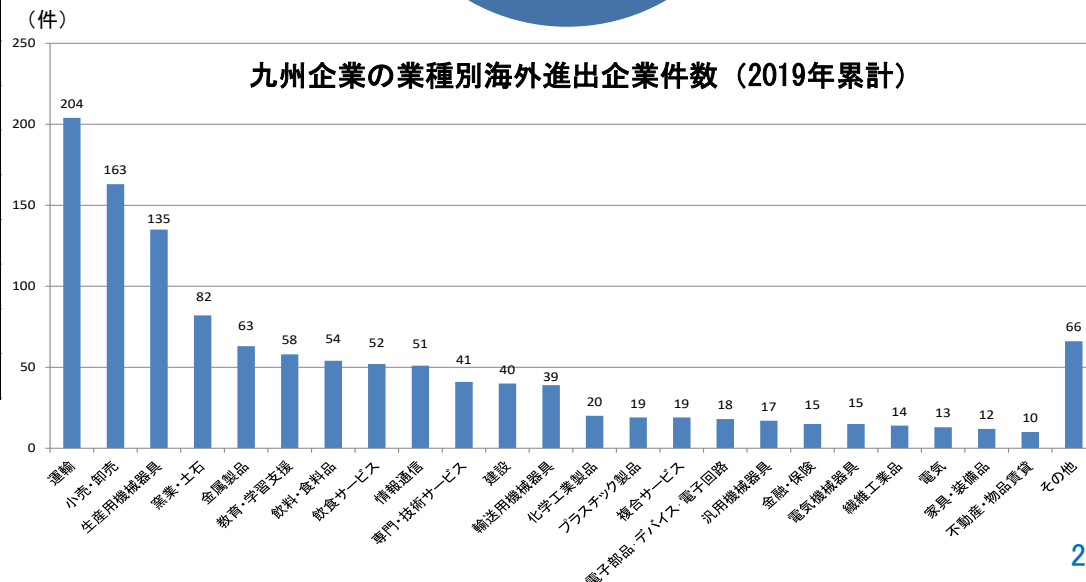
	九州					九州計	構成比(%)	全 国	
	17年		18年		19年			2019年時点	
	構成比(%)		構成比(%)					掲載ベース	構成比(%)
世界合計	38	100.0	51	100.0	31	1,220	100.0%	32,336	100.0
アジア	32	84.2	38	74.5	20	937	76.8%	20,203	62.5
中国	3	7.9	8	15.7	2	383	31.4%	6,933	21.4
韓国	1	2.6	2	3.9	1	58	4.8%	967	3.0
香港	2	5.3	1	-	-	49	4.0%	1,293	4.0
台湾	-	0.0	4	7.8	2	73	6.0%	1,138	3.5
ASEAN	24	63.2	22	43.1	13	338	27.7%	8,811	27.2
インド	2	5.3	1	2.0	2	31	2.5%	932	2.9
その他アジア	-	-	-	-	-	5	0.4%	129	0.4
EU	1	2.6	6	11.8	4	85	7.0%	4,289	13.3
ロシア	-	-	-	-	-	4	0.3%	185	0.6
米国	3	7.9	3	5.9	2	122	10.0%	4,147	12.8
オーストラリア	1	2.6	-	-	-	13	1.1%	637	2.0
アフリカ	-	-	-	-	1	5	0.4%	210	0.6
その他	1	3	4	8	4	54	4.4%	2,875	8.9

九州各県の海外進出企業件数（2019年累計）

（単位：件、%）



九州企業の業種別海外進出企業件数（2019年累計）



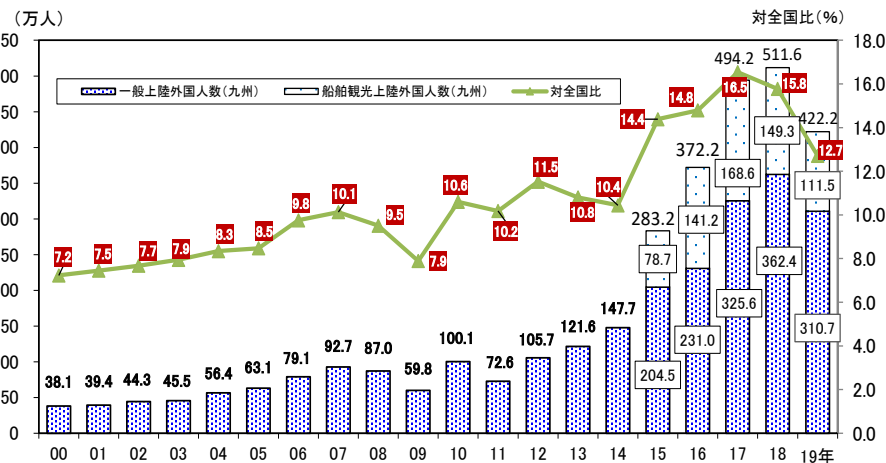
出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」、東洋経済新報社「海外進出企業総覧2020（国別編）」を基に九州経済産業局作成。

外国人入国者①

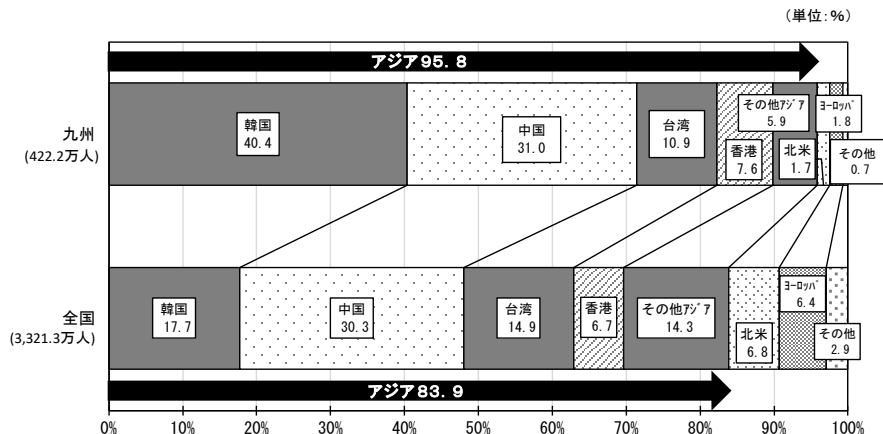
- 2019年の九州への外国人入国者数（※）は422.2万人（対前年17.5%減、全国比12.7%）、9年ぶりに減少。
- 国籍別では、韓国（170.6万人、構成比40.4%）、中国（132.9万人、同31.5%）、台湾（45.9万人、同10.9%）、香港（32.1万人、同7.6%）の順に多い。
- アジアからの入国者比率は九州全体の95.8%、全国（83.9%）に比べて高くなっている。

※外国人入国者数：一般上陸許可を受けた外国人数及び船舶観光上陸の許可（出入国管理及び難民認定法第14条の2）を受けた外国人数（クルーズ船による上陸人数）の総数

九州へ入国した外国人数及び全国比の推移



九州と全国の外国人入国者数の構成比



九州への外国人入国者数（国籍別）

（単位：人、%）

	九 州				全 国			
	2019年 外国人 入国者数	構成比 (%)	伸び率 (%)	全国比 (%)	2018年 外国人 入国者数	構成比 (%)	伸び率 (%)	2018年 外国人 入国者数
総数	4,222,099	100.0	▲ 17.5	12.7	5,116,366	100.0	2.4	32,439,905
アジア	4,043,947	95.8	▲ 18.6	14.5	4,970,525	97.1	0.4	27,761,848
韓国	1,706,493	40.4	▲ 29.2	29.0	2,409,667	47.1	▲ 24.7	7,831,651
中国	1,329,429	31.5	▲ 22.2	13.0	1,707,942	33.4	14.1	8,941,098
台湾	458,910	10.9	11.0	9.3	413,525	8.1	2.8	4,813,184
香港	321,317	7.6	12.5	14.5	285,504	5.6	3.1	2,149,950
ベトナム	32,724	0.8	23.3	6.3	26,531	0.5	27.1	407,678
タイ	60,803	1.4	50.5	4.5	40,400	0.8	16.4	1,162,135
シンガポール	20,178	0.5	12.9	4.1	17,874	0.3	12.5	440,316
マレーシア	37,972	0.9	259.6	7.5	10,559	0.2	7.1	474,621
フィリピン	46,961	1.1	39.5	6.0	33,668	0.7	18.4	656,635
インドネシア	8,939	0.2	21.4	2.1	7,363	0.1	4.0	404,740
ミャンマー	1,959	0.0	50.8	5.6	1,299	0.0	25.1	27,929
インド	3,596	0.1	6.7	1.9	3,370	0.1	13.4	163,631
その他のアジア	14,666	0.3	14.4	4.5	12,823	0.3	13.7	288,280
ヨーロッパ	76,523	1.8	29.7	3.6	58,998	1.2	15.6	1,835,558
英国	24,684	0.6	1.8	5.6	24,259	0.5	6.3	411,710
フランス	7,542	0.2	33.4	2.2	5,655	0.1	10.2	313,274
ドイツ	6,774	0.2	35.2	2.8	5,011	0.1	9.7	219,902
イタリア	3,313	0.1	▲ 12.3	2.0	3,777	0.1	8.4	153,279
オランダ	3,751	0.1	20.5	4.7	3,113	0.1	10.1	73,083
その他のヨーロッパ	30,459	0.7	77.3	3.6	17,183	0.3	28.0	664,310
アフリカ	1,427	0.0	16.9	2.4	1,221	0.0	39.6	43,279
北米	71,751	1.7	13.2	3.2	63,380	1.2	12.6	1,993,721
米国	50,316	1.2	13.2	2.8	44,452	0.9	12.7	1,570,287
その他北米	21,435	0.5	13.2	4.5	18,928	0.4	12.1	423,434
南米	2,106	0.0	41.2	1.2	1,492	0.0	6.6	162,830
オセアニア	26,287	0.6	26.9	3.6	20,708	0.4	14.3	641,819
オーストラリア	22,454	0.5	27.0	3.6	17,685	0.3	12.5	561,207
その他オセアニア	3,833	0.1	26.8	3.7	3,023	0.1	27.3	80,612
無国籍	58	0.0	38.1	6.4	42	0.0	6.1	850

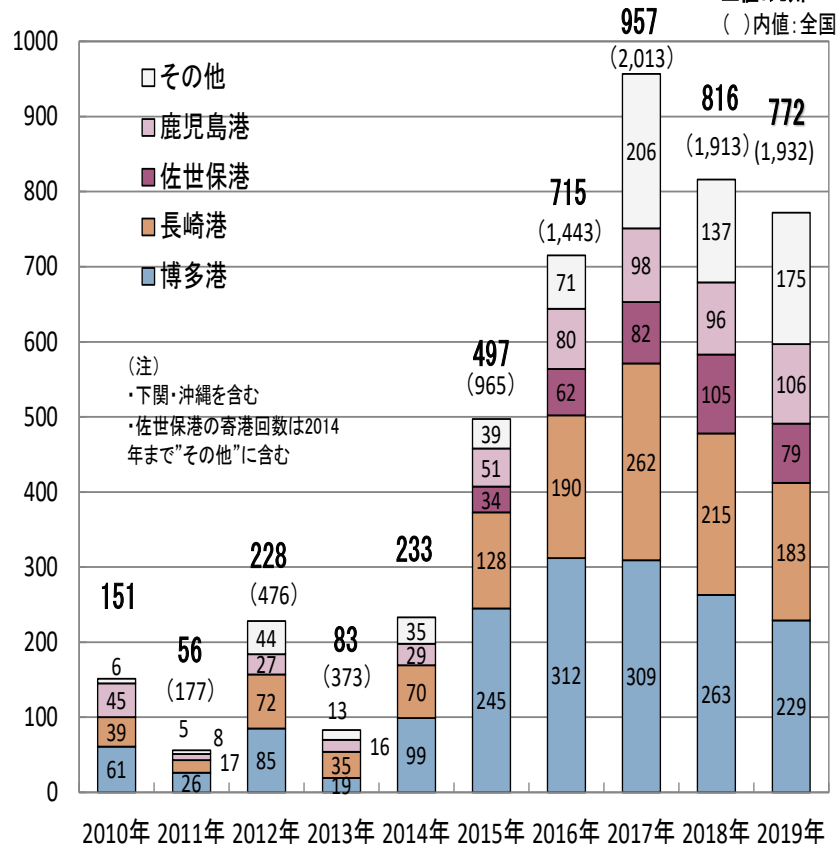
外国人入国者②

○船舶観光上陸（クルーズ船乗船の外国人の観光目的の上陸）許可を受けた外国人数は111.5万人、全国（202.6万人）の55.0%、対前年25.3%の減少。

○九州（下関・沖縄含む）への外国クルーズ船の寄港回数については、2019年は九州全体で772回（全国1,932回）と前年から5.4%の減少ながら、全国比は40.0%と依然として高い水準。なお、博多港は、2019年のクルーズ船の寄港回数が229回であり、全国第2位であった。

九州へのクルーズ船寄港回数の推移

(単位:回)



上値:九州
()内値:全国

クルーズ船寄港回数上位と九州の港湾への寄港回数		
順位	港湾名	回数
1	那覇港	260
2	博多港	229
3	横浜港	188
4	長崎港	183
5	石垣港	148
6	平良港	147
7	神戸港	131
8	鹿児島港	106
9	ペラピスタマリナ(広島)	100
10	佐世保港	79
【以下、九州の港湾のみ】		
32	別府港	20
33	北九州港	20
34	名瀬港	20
35	八代港	19
36	宮之浦港	17
46	唐津港	11
54	細島港	8
55	油津港	8
72	青方港	4
78	平土野港	3
79	熊本港	3
80	福江港	3
91	宮崎港	2
92	郷ノ浦港	2
93	古仁屋港	2
101	厳原港	1
102	佐伯港	1
103	与論港	1
104	和泊港	1
全国港湾寄港回数合計		2,866

※九州管内(下関・沖縄含む)は772回

九州と全国の港別船舶観光上陸外国人数の動向

(単位:人)

	2019年 船舶観光上 陸外国人数	2019年 船舶観光上 陸外国人数		2018年 船舶観光上 陸外国人数	構成比 (%)
		構成比 (%)	伸び率 (%)		
全国	2,026,307	100.0	▲ 13.3	2,337,803	100.0
大阪港	43,099	2.1	60.5	26,845	1.1
関門港(下関)	49,218	2.4	▲ 0.6	49,500	2.1
九州	1,114,756	55.0	▲ 25.3	1,492,618	63.8
博多港	462,842	22.8	▲ 13.6	535,624	22.9
長崎港	346,325	17.1	▲ 26.7	472,383	20.2
八代港	36,935	1.8	▲ 61.1	94,896	4.1
鹿児島港	127,061	6.3	▲ 22.0	162,961	7.0
佐世保港	112,976	5.6	▲ 38.6	183,965	7.9
関門港(戸畑)	27,450	1.4	▲ 34.7	42,049	1.8
その他	1,167	0.1	57.7	740	0.03
那覇港	522,973	25.8	4.9	498,656	21.3
その他	296,261	14.6	9.7	270,184	11.6

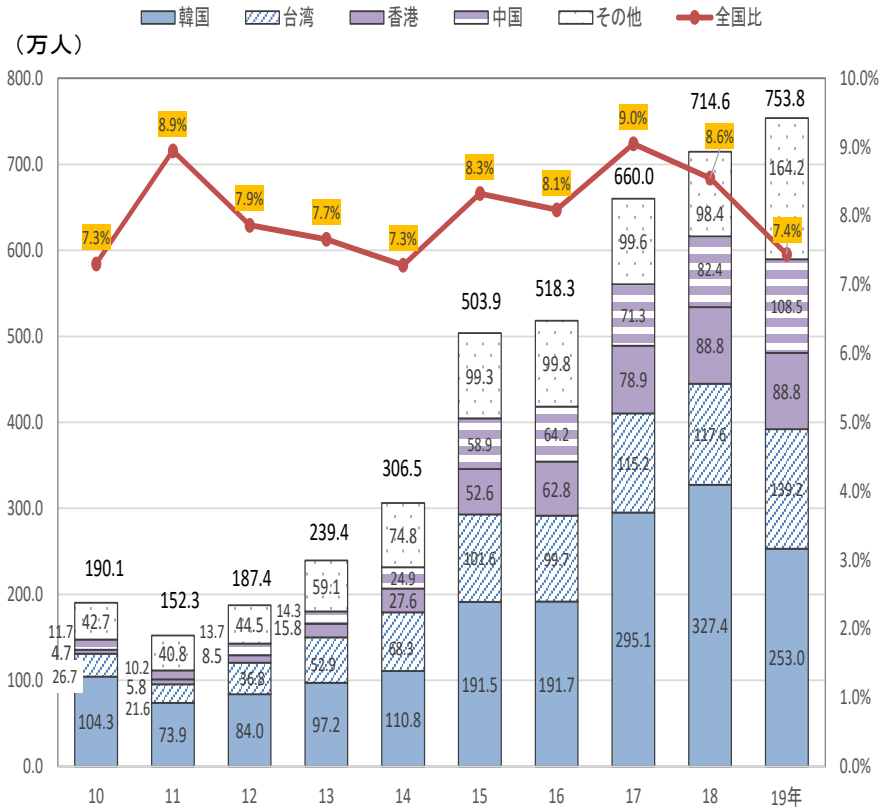
外国人延べ宿泊者

○2019年の九州の外国人延べ宿泊者数は、753.8万人（対前年 5.5%増、全国比7.4%）。

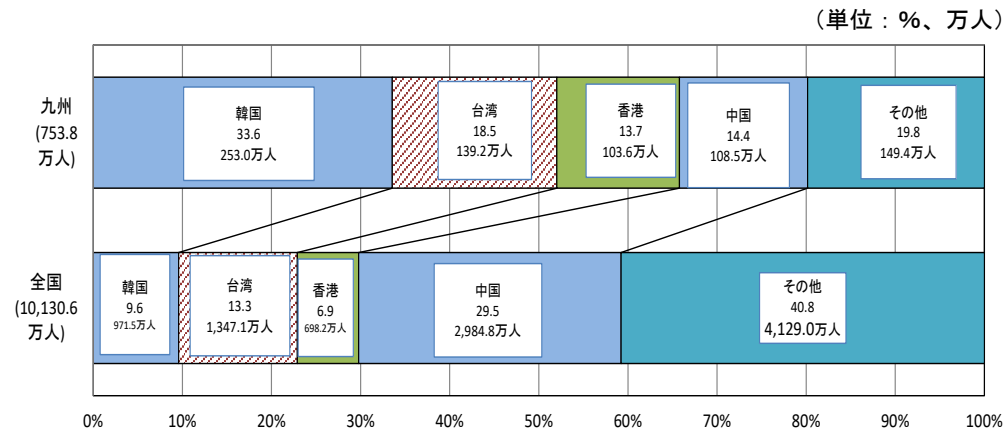
国籍別には、韓国253.0万人（九州の33.6%）、台湾139.2万人（同18.5%）、中国108.5万人（同14.4%）、香港103.6万人（同13.7%）の順に多い。

○県別には、福岡県378万人（九州の50.3%）と5割を超え、大分県93.3万人（同12.4%）、熊本県86.3万人（同11.4%）の順に多い。

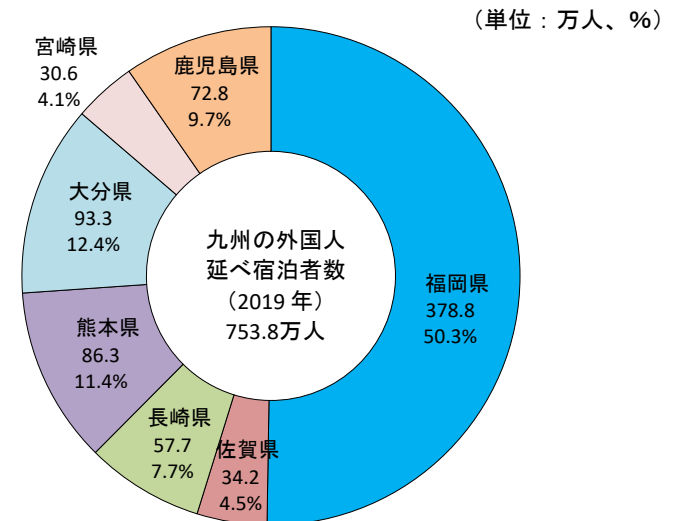
九州の外国人延べ宿泊者数の推移（国籍別）



九州と全国の外国人延べ宿泊者の構成比（国籍別）



九州の外国人延べ宿泊数の県別構成比



備考：従業員10人以上の宿泊施設が対象。

出所：国土交通省観光庁「宿泊旅行統計調査」より九州経済産業局作成。

外国人労働者

○2019年の全国の外国人労働者数は1,658,804人（対前年13.6%増）。

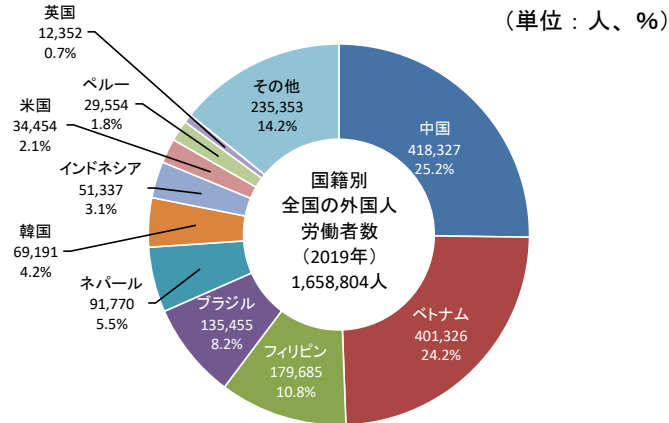
国籍別では、中国（香港等含む）41.8万人（全国比25.2%）と最も多く、次いでベトナム、フィリピンの順に多い。

○九州の外国人労働者数は97,058人（対前年15.0%増、全国比5.9%）。

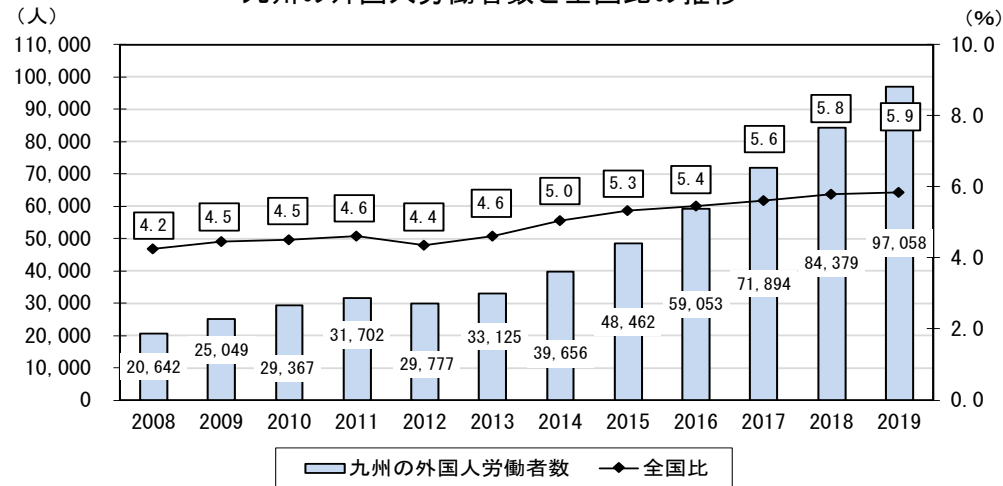
国籍別では、ベトナム、35,684人（構成比36.8%）と最も多く、次いで中国（香港等含む）、ネパールの順に多い。

産業別では、製造業が28.5%と最も多く、次いで卸売業・小売業（15.5%）、宿泊業・飲食サービス業（9.6%）の順。

全国の外国人労働者数（国籍別）

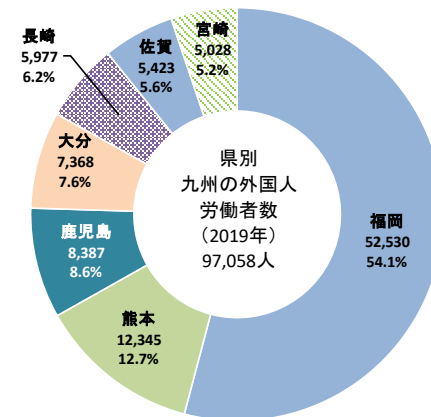
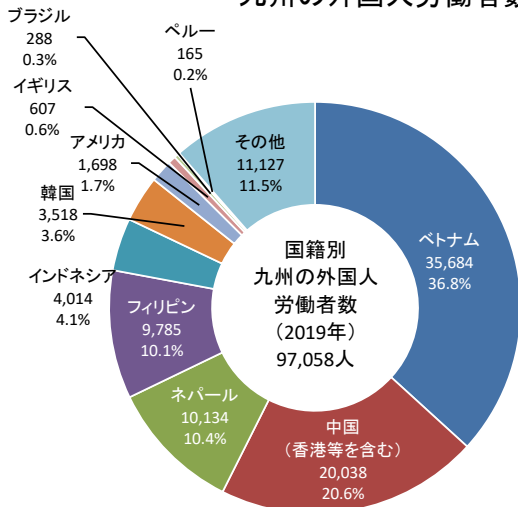


九州の外国人労働者数と全国比の推移



九州の外国人労働者数（国籍別、県別）

(単位：人、%)



九州と全国の外国人労働者数（産業別）

(単位：人、%)

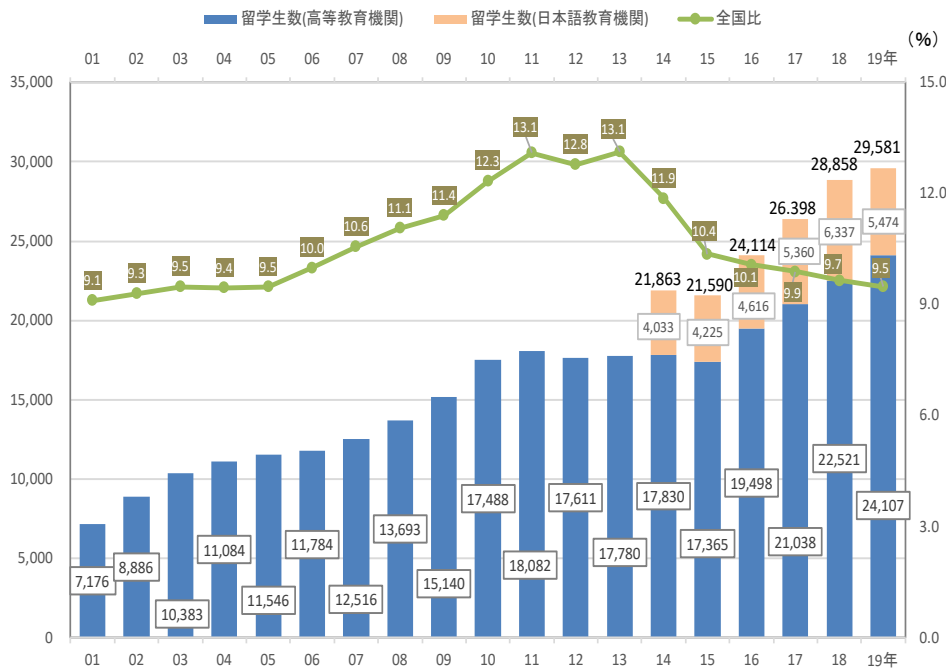
産業	九州			全国	
	人数	構成比	全国比	人数	構成比
製造業	27,703	28.5%	5.7%	483,278	29.1%
卸売業・小売業	15,015	15.5%	7.1%	212,528	12.8%
教育・学習支援業	6,053	6.2%	8.5%	70,941	4.3%
宿泊業・飲食サービス業	9,352	9.6%	4.5%	206,544	12.5%
建設業	7,233	7.5%	7.8%	93,214	5.6%
情報通信業	862	0.9%	1.3%	67,540	4.1%
医療・福祉	2,288	2.4%	6.7%	34,261	2.1%
サービス業(他に分類されないもの)	10,655	11.0%	4.0%	266,503	16.1%
上記以外	17,897	18.4%	8.0%	223,995	13.5%
全産業計	97,058	100.0%	5.9%	1,658,804	100.0%

留学生

- 2019年の九州の留学生数（高等教育機関及び日本語教育機関における総数）は29,581人（対前年2.5%増、全国比9.5%）。
- アジアからの留学生が95.0%（全国では93.6%）。
- 国籍別ではベトナム8,251人（構成比27.9%）、次いで中国、ネパール、韓国の順に多い。

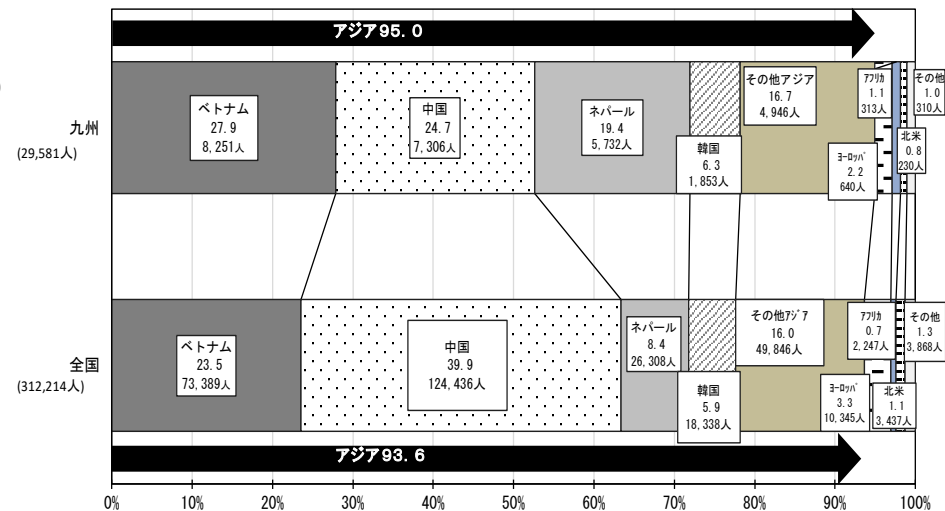
九州の留学生数の推移

（単位：人、%）



九州と全国の留学生数の構成比

（単位：人、%）



九州経済国際化データ2020

<概要版>

2020年12月 発行

編集・発行：九州経済産業局 国際部 国際企画調査課

〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2-11-1

T E L 092-482-5428

H P <https://www.kyushu.meti.go.jp/>